

令和元年第1回

武蔵村山市教育委員会臨時会

令和元年8月9日

武蔵村山市教育委員会

令和元年第1回武蔵村山市教育委員会臨時会

1. 日 時 令和元年8月9日(金)

開会 午前 9時30分

閉会 午後 3時31分

2. 場 所 武蔵村山市役所5階 委員会室

3. 出席委員 池谷光二(教育長) 比留間 雅 和
杉原栄子 潮 美 和
大野 順 布

4. 説明のため出席した者の職氏名

教育部長	田代 篤	学校教育担当部長	高橋 良友
指導担当参事	勝山 朗	教育総務課長	井上 幸三
指導主事	加藤 由裕	指導主事	石井 和成
教科書採択資料作成委員会委員長		五十嵐誠一	
教科書採択資料作成委員会委員		中村 清敬	
教科書採択資料作成委員会委員		前川 潤	
教科書採択資料作成委員会委員		齋藤 実	
教科書採択資料作成委員会委員		村山 博子	
教科書採択資料作成委員会委員		鶴田 浩二	
教科書採択資料作成委員会委員		井内 潔	

5. 会議に出席した事務局の職員

教育総務課教育政策係	市場 直樹
	吉野恵里加
	岸 真弓

議事日程

- 1 会期の決定
- 2 議案第44号 武蔵村山市立小学校令和2年度使用教科用図書の採択について
- 3 議案第45号 武蔵村山市立中学校令和2年度使用教科用図書の採択について
- 4 議案第46号 武蔵村山市立小学校特別支援学級令和2年度使用教科用図書の採択について
- 5 その他

◎開会の辞

○池谷教育長 本日の会議に際しまして、28名の方から傍聴の申出があり、武蔵村山市教育委員会会議規則第29条の規定に基づき、会議の傍聴を許可しましたので報告いたします。

なお、傍聴に際しましては、傍聴人皆様をお願いいたします。傍聴に際しましては、武蔵村山市教育委員会傍聴規則に基づき、傍聴人席横に掲示されております傍聴人の遵守事項をお守りくださるようお願いいたします。

また、本日、長崎市に原爆が投下されてから74年が経過いたしました。そこで、午前11時2分になりましたら、一旦休憩をとり、黙とうをささげたいと思いますので、よろしくようお願いいたします。

それでは、始めます。

本日の出席委員は全員でございます。

これより令和元年第1回武蔵村山市教育委員会臨時会を開会いたします。

◎議事日程の報告

○池谷教育長 本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりでございます。

これに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○池谷教育長 御異議なしと認め、配付のとおり決定いたします。

◎日程第1 会期の決定

○池谷教育長 日程第1、会期の決定を議題といたします。

本臨時会の会期は、本日限りといたしたいと思っております。

これに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○池谷教育長 御異議なしと認めます。

したがって、会期は本日限りといたします。

◎日程第2 議案第44号 武蔵村山市立小学校令和2年度使用教科用図書の採択
について

○池谷教育長 日程第2、議案第44号 武蔵村山市立小学校令和2年度使用教科用図書の採択
についてを議題といたします。

武蔵村山市教育委員会会議規則第15条の規定により、武蔵村山市立小学校令和2年度使用
教科用図書の採択に係る説明のため、教科書採択資料作成委員会委員の出席を求めます。

しばらくお待ちください。

(教科書採択資料作成委員会委員 入室)

○池谷教育長 委員の校長先生方、お忙しい中、ありがとうございます。本日は、何とぞよろ
しくお願いいたします。

それでは、教育総務課長より議案の朗読をいたさせます。

井上教育総務課長、お願いします。

○井上教育総務課長 それでは、議案を朗読いたします。

議案第44号 武蔵村山市立小学校令和2年度使用教科用図書の採択について。

武蔵村山市立小学校令和2年度使用教科用図書を別紙のとおり採択するため、教育委員会
の議決を求めます。

令和元年8月9日、武蔵村山市教育委員会教育長。

別紙については、協議終了後に作成し、配付いたします。

以上でございます。

○池谷教育長 ありがとうございます。

それでは、議案第44号の提案理由を説明させていただきます。

義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条の規定により、小学校令和2
年度使用教科用図書を採択する必要がありますので、本案を提出するものでございます。

よろしく御審議の上、御決定くださいますようお願いいたします。

なお、別紙につきましては、協議終了後に配付させていただきます。

教科用図書、これは教科書のことですが、教科用図書採択の事務につきましては、この後、
勝山指導担当参事より説明いたさせ、その後、教科書採択資料作成委員会から報告のありま
した内容につきまして、教科書採択資料作成委員会の五十嵐誠一委員長より説明をいたさせ
ます。

なお、説明の後、御質問がございましたら、各教科の委員がお答えいたしますので、よろ

しくお願いいたします。

勝山指導担当参事、お願いします。

○勝山指導担当参事 それでは、議案第 44 号 武蔵村山市立小学校令和 2 年度使用教科用図書の採択について、大きく 3 点、御説明申し上げます。

大きな 1 点目は、全ての教科書を調査対象とする採択資料の作成事務についてでございます。

4 月の教育委員会で議決をいただきましたが、武蔵村山市立学校令和 2 年度使用教科用図書採択要領に基づき、学校調査会、教科書調査研究委員会及び教科書採択資料作成委員会を設置いたしました。

資料作成に当たりまして、次の 3 つの観点から調査研究を依頼しました。

1 点目が内容、2 点目が構成上の工夫、3 点目が特長についてです。

なお、学校調査会につきましては、特長についてのみ調査研究を依頼しました。

お手元には、教科書採択資料作成委員会報告書を配付させていただいております。

なお、今回の教科書採択資料作成委員会には、保護者とともに、小中連携教育、小中一貫教育の視点から、中学校の校長も委員として加わっております。

大きな 2 点目は、教科書展示会及び御意見等に関する報告です。

教育センターを会場として、まず法定展示として、令和元年 6 月 14 日から 7 月 3 日まで、14 日間、教科書展示を行いました。また、7 月 4 日から 3 日間、特別展示を行いました。より多くの皆様に閲覧いただくために、この 3 日間のうち 1 日を土曜日に設定し、合計 17 日間の教科書展示会を行いました。

当展示会に来場され、来室者カードを御提出いただいた方は延べ 74 名でございました。そのうち市内小・中学校児童・生徒の保護者と記入された方が 3 名、市内在住と記入された方が 60 名、市外在住と記入された方が 2 名、記入のないものが 9 名でした。

また、お寄せいただいた御意見の総数は 82 件でした。そのうち、市内小・中学校児童・生徒の保護者と記入された方からのものは 6 件でした。市内在住と記入された方からのものが 68 件、市外在住と記入された方からのものが 4 件、記入のないものが 4 件でございました。

なお、お寄せいただいた御意見の内容ですが、委員の皆様には事前に見ていただいているところでございます。

また、来室者カードを御記入いただけなかった方がいたことや、市内在住と記入された方の御意見の内容が保護者としての意見であったこと等、御報告させていただきました人数及

び件数は、あくまで参考となりますので御了承ください。

大きな3点目は、教科書採択に当たり教育委員会に寄せられました要望・意見等についてでございます。

今回の教科用図書採択について、何らかの要請等は団体から5件でございます。そのうち、中学校用教科用図書の採択に係る要請等が2件ございましたので、その内容については次の議案にて御報告いたします。

1件目は、日本出版労働組合連合会から、2019年度における公正な教科書採択のためにとして文書が来ております。

こちらにつきましては、4月に開催いたしました平成31年第4回教育委員会定例会にて、全ての項目について御説明をいたしましたので、ここでの御説明は省略いたします。

2点目は、武蔵村山子どもの教育と文化を育てる会から、平成32年度使用小学校全科教科書採択についての要請として文書が来ております。

こちらにつきましても、4月に開催いたしました平成31年第4回教育委員会定例会にて、全ての項目について御説明しております。その中で、要望として、採択に当たり教育委員一人一人の意見を尊重し、行き届いた配慮をすること。日常の指導に当たる先生たちの意見が、採択に当たっても尊重されるべきであること。教科書公開展示会場をもう1カ所、設置できるようにすることの3点が上がっております。これらの要望事項については、4月に議決をいただきました教科用図書採択要領に基づき、適正かつ公正に採択を行うことから、特段の対応等の必要はないものと考えております。

3件目は、武蔵村山子どもの教育と文化を育てる会から、令和2年度使用小学校全科教科書採択についての要請として文書が来ております。

こちらにつきましては、7月1日付で文書收受し、教育委員の皆様にもお渡しをしているものでございます。また、本日、改めてお配りをさせていただいているところでございます。

要望事項は、概要のみ御説明いたしますと、1、子供、教員に過重な負担がかからないような配慮をお願いいたします。

2、英語の専門教員の配置を文科省に要望してください。

3、各教科についての御配慮をお願いします。

この中で、国語科について、3点、文学作品の多い教科書を選んでください。平仮名の導入時は、一文字ずつゆっくり丁寧に教えられるような教科書を選んでください。子供の生活を振り返って書けるような作文指導のできる教科書を選んでください。

道徳科について、平和教材、真実を大事にする教材、差別のない平等、男女同権などに目を向けてくださるようお願いいたします。

社会科について、地域、父母の意見、思いを無視せずに、しっかりと学びとれる教科書を選んでください。

これらの3点です。

こちらは、内容の一部、特定の教科書の採択をしないよう求める要望がございますが、仮に課題のある教科書が存在するのであれば、それは検定の段階で考慮されているものでありますので、本市としての対応は不要であると考えます。

また、その他の要望に関しましても、本市の採択の仕組みの中で大きな課題はないものと考えております。

以上でございます。

○池谷教育長 ありがとうございます。

今、指導担当参事から説明がございましたけれども、この点につきまして委員の皆様、御質問等ございませんでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 質問がないようですので、次に資料1、教科書採択資料作成委員会報告書について、同委員会、五十嵐誠一委員長より説明を求めます。

五十嵐教科書採択資料作成委員会委員長、お願いします。

○五十嵐教科書採択資料作成委員会委員長 議案第44号 武蔵村山市立小学校令和2年度使用教科用図書の採択についての内容を御説明申し上げます。

それでは、資料1、教科書採択資料作成委員会報告書を基に、小学校の国語から順に説明させていただきます。

なお、出版社名につきましては略称にて申し上げます。

まず、国語につきましては、出版社は4社でございます。

初めは、東書の「新しい国語」です。

学習指導要領の目標に照らし、自然や社会など、多様な分野から教材が選定されています。単元ごとの「つかむ」「取り組む」「振り返る」の3ステップで学習の見通しが持てるように構成されています。また、既習の漢字の筆順が掲載されているのが特長です。

次に、学図の「みんなと学ぶ 小学校 国語」です。

定評のある優れた教材が選定され、説明文は単純なものから複雑なものになるように配列

されています。それぞれの学習が他領域の題材・活動と関連できるよう構成の配慮がされています。学習のステップを見開きで見渡すことができるようになっています。

次に、教出の「ひろがる言葉 小学国語」です。

言語文化として受け継ぐ価値のある教材が、多様な観点から選定されています。学習過程の明確化や、用語の系統化など、発達の段階に応じた構成上の工夫がされています。全ての単元に、具体的な言語活動の目標と振り返りを設定しているのが特長です。

次に、光村の「国語」です。

児童の興味・関心を引き出し、探求心を育てる内容の文学教材や説明文が取り上げられています。学習の進め方が明記され、児童にとって大変学習しやすい構成になっています。単元に関連する本の紹介ページが、充実した読書活動につながるよう工夫されています。

続きまして、書写につきましては、出版社は5社でございます。

初めは、東書の「新しい書写」です。

文字を整えて書くための「書写のかぎ」を集めながら旅をする設定で、年間の学習に意欲を持たせやすく、学ぶポイントが明確になっています。全学年の「書写のかぎ」がまとめられており、段階的に要点を押さえて書く活動ができるのが特長です。

次に、学図の「みんなと学ぶ 小学校書写」です。

学習指導要領の目標と内容に合った、基礎的・基本的な学習内容が記載されています。前学年の振り返り、または新しい学習内容を教科書の冒頭に記載し、学習意欲を高める工夫がされています。裏面のQRコードで、自宅での復習も可能となっています。

次に、教出の「小学 書写」です。

学習指導要領の「点画の書き方」に対応しています。自分の課題を見付け練習し、めあてを達成できる仕掛けが用意されています。友達同士で見合い、互いの文字の変容を伝えるための「対話の言葉」が示されています。ポスターの書き方を学ぶ単元があるのが特長です。

次に、光村の「書写」です。

主体的な学習のため、発達の段階に応じた鉛筆や筆の持ち方、そのときの姿勢をイラストや写真で示しています。他教科で扱った内容の復習ができるページが多く含まれているとともに、意欲を高めるため、シールを用いた学習活動が提案されているのが特長です。

次に、日文の「小学書写」です。

「そり」や「はね」のイメージで、猫が体を反らせたり、カエルが跳ねたりする様子を使い、児童が考えやすい内容になっています。学年の発達の段階に応じて、スモールステップ

で難易度が上がり、児童にとって取り組みやすい構成となっています。

続きまして、社会につきましては、出版社は3社でございます。

初めは、東書の「新しい社会」です。

学習内容の「空間・時間・相互関係」の3つの視点に分けて学習できる構成となっており、「問題解決的な学習」を進めやすくなっています。高学年の教科書は、二分冊になっており、児童も教員も学習内容を意識しやすい構成となっております。

次に、教出の「小学社会」です。

「問題解決的な学習」に適した内容、構成になっており、新しい学習指導要領で重視される学び合いに適していると考えられます。また、単元間のつながりが重視され、児童が自ら意欲を高めながら追求できるように工夫されています。

次に、日文の「小学社会」です。

資料が豊富で、文章が簡潔なため、資料と本文を関連付けやすくなっています。また、学び方・調べ方コーナーが充実して、学習の進め方も具体的に書かれているため、児童の学習に対する見通しを持たせやすく構成されています。

続きまして、地図につきましては、出版社は2社でございます。

初めは、東書の「新しい地図帳」です。

3年生からの使用ということを踏まえ、地図の仕組みと約束事をスムーズに学べるような配慮がされています。また、デジタルコンテンツとの連携が充実しており、新しい時代の学習によく対応した構成となっています。

次に、帝国の「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」です。

児童が主体的に地図を活用し、自分の力で問題解決ができるような構成や表記の工夫がされています。ユニバーサルデザインの観点からも工夫がなされており、誰にでも使いやすくなっています。児童の世界が広がるような楽しさが感じられます。

続きまして、算数につきましては、出版社は6社でございます。

初めは、東書の「新しい算数」です。

ノート事例や活用法を例示し、児童が具体的に活動する手助けとなっています。また、「今日の深い学び」として、数学的な見方・考え方や、深い学びを可視化しているのが特長です。補充問題をQRコードで取り出せるようにして、家庭学習や主体的な学習を促しています。

次に、大日本の「たのしい算数」です。

吹き出しや、自ら考え解決する学び方を示し、主体的な学びを支える工夫がされています。

身近な場面から課題設定がされ、既習事項を生かして解決が図れる工夫をしています。また、仕事に就いている方へのインタビューを載せ、社会との関わりを考えさせているのが特長です。

次に、学図の「みんなと学ぶ 小学校算数」です。

数学的な見方・考え方をキャラクター化し、抽象的な概念を身近に感じさせる工夫がされています。写真を多く使用し、見やすく、分かりやすい構成となっています。A B判で製本してあり、作図などを児童がしやすくなるよう工夫しているのが特長です。

次に、教出の「小学算数」です。

身近な題材から問題を発見し、興味・関心を高める工夫がされています。解決されたことから、「だったら何々」とつなげ、児童の思考が新たな問いへ発展する配慮がされています。また、他教科や他の活動と関連した場면을題材にし、必要感を持つように工夫しています。

次に、啓林館の「わくわく 算数」です。

「めあて」を設定し、それに対する「まとめ」を示し、指導者にとっても利便性が高い構成になっています。「練習」「たしかめよう」「もっと練習」「じゅんび」など練習問題が充実し、習熟に応じた段階的な学びに対応できます。デジタルコンテンツの活用にも配慮されています。

次に、日文の「小学算数」です。

「しっかりチェック」「ぐっとチャレンジ」「もっとジャンプ」を設け、児童の実態に合わせて活用できる内容が示されています。「問題把握→見通し→自力解決→学び合い→振り返り」など、問題解決の過程が分かりやすく示されており、考えを伝え合えるよう、工夫しているのが特長です。

続きまして、理科につきましては、出版社は5社でございます。

初めは、東書の「新しい理科」です。

習得した知識を使える知識へと発展させるために、事象が示されています。巻頭には、理科学習が日常生活においてどのように関わっているのかが示されています。教科書自体の大きさがA4サイズのため、図や写真が見やすくなっています。

次に、大日本の「たのしい理科」です。

理科の学習内容を算数や社会科、生活科等の教科と関わらせて、横断的な学習ができるようにしています。巻末の理科のノート書き方を参考にして、ノートに記録することができるようになっています。最後のページには、次の学年の目次があり、期待が高まります。

次に、学図の「みんなと学ぶ 小学校理科」です。

学年で身に付ける力を「特に意識したいこと」で示しています。「見方・考え方」や対話的な学びについて、キャラクターが手助けになります。単元の内容に適した資質・能力が具体的に示されており、単元末に自己の学びを振り返る項目が設けられているのが特長です。

次に、教出の「未来をひらく 小学理科」です。

問題解決の流れが、「学習の進め方」と「ノートの取り方」という2つの観点から整理されています。3年から、中学校の学習までのつながりが示されているとともに、関連した内容が書かれているページも示されています。実験の写真やイラストが大きくなっています。

次に、啓林館の「わくわく 理科」です。

最初の「思い出してみよう」で、単元に関わる既習事項を振り返ることができます。単元末の「ふり返ろう まとめノート」で、学習内容をまとめる習慣付けができます。単元の前後に同じ問いかけを設定し、学びによる変化が分かるようになっているのが特長です。

続きまして、生活につきましては、出版社は7社でございます。

初めは、東書の「生活」です。

調べ方やまとめ方や情報機器の活用の記載が充実しています。登場人物や活動に吹き出しがついていて、児童の「気付き」のヒントになっています。ダイナミックな写真を掲載するためにA4サイズを採用し、自社開発の軽量専用紙を使用し、軽量化を図っています。

次に、大日本の「たのしいせいかつ」です。

キャラクターや絵が多く使用されていて、親しみやすくなっています。また、「せいかつのことば」で語彙力の向上、言語力の育成を図ることができます。他の教科との関連を意識させるため、イラストや教科等が記載されていて、横のつながりを意識したカリキュラム編成ができます。

次に、学図の「みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ」です。

キャラクターが会話している場面を設定し、児童同士が対話から他者の考えに気付き、解決方法を学ぶ工夫がされています。単元の中で「みつける」「やってみる」「ふかめる」「つたえあう」が段階的に示され、学習の見通しを持ちやすい工夫がされています。

次に、教出の「せいかつ」です。

キャラクター「いぐら」の吹き出しから、他者の考えや立場に気付く工夫がされています。学習の「ひんと」を載せて、児童の学習課題を明確にする配慮がされています。木の実や草など身近な自然の写真が多く掲載してあり、図鑑としての活用も可能になっています。

次に、光村の「せいかつ」です。

単元の初めに「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」として、どのような活動をしていくのか明示してあります。全体が150ページ程度で、コンパクトな大きさと軽量化を図っています。QRコードが掲載されていて、画像や動画を視聴できるようになっています。

次に、啓林館の「せいかつ」です。

絵やイラストにインパクトがあり、児童の興味・関心を高める工夫がされています。板書・付箋・ICTを活用する学習活動が例示されていて、児童同士の気づきを共有することができます。ページ右下に児童の思いや願いが示され、自分の成長を振り返る工夫がされています。

次に、日文の「わたしとせいかつ」です。

学習の場を、上巻では学校とし、下巻では地域へと広げて、3年生以降の学習につながりやすく構成されています。イラストとして登場する子供たちも多様で、国際化に配慮されています。取材方法、手紙の書き方や地域防災についても掲載されています。

続きまして、音楽につきましては、出版社は2社でございます。

初めは、教出の「小学音楽 音楽のおくりもの」です。

鑑賞教材が多彩で、英語の歌唱教材や器楽教材や音楽づくりの教材も発展的な段階に見合った内容になっています。ウェブサイトの「まなびリンク」が充実しており、児童の学習意欲を高め、各単元にある「まなびナビ」によって児童自身が段階的に学習を進められるようになっています。

次に、教芸の「小学生の音楽」です。

学習の見通し、めあて、振り返り等が、児童に分かりやすく提示されていて、1・2年生で音楽を担当する学級担任にも使いやすくなっています。様々な資料や図が分かりやすく、幅広い内容も分かりやすく取り上げており、音楽が苦手な児童にも分かりやすい構成となっているのが特長です。

続きまして、図画工作につきましては、出版社は2社でございます。

初めは、開隆堂の「図画工作」です。

各題材の内容は、各学年、共同で行う活動が多く、視野を広く持ち、他者を認める心が育つような構成となっています。プログラミング教育やQRコードの導入、オリンピック・パラリンピック教育など、教育の流れをつかんだ内容となっています。

次に、日文の「図画工作」です。

自然や多様な材料、美術作品が写真掲載されていて、教科目標の「生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を育成すること」に合致しています。各所に造形遊びが豊富に取り上げられ、工作や絵画で味わえない楽しさを感じることができます。

続きまして、家庭につきましては、出版社は2社でございます。

初めは、東書の「新しい家庭」です。

学習の流れを3つのステップで示し、見通しを持って学習が進められる構成になっています。調理学習では、栄養素との関連や安全面への配慮に重点が置かれています。A4サイズで、図やイラストが大きく、全体に見やすくつられているのが特長です。

次に、開隆堂の「小学校 わたしたちの家庭科」です。

自分の生活を振り返り、「なぜだろう」と考えさせ、必要感を持って学習に取り組みやすい構成となっています。印刷が鮮明で見やすく、写真やイラストが多様されているとともに、QRコードで学習コンテンツを別途に提供しているのが特長です。

続きまして、体育（保健）につきましては、出版社は5社でございます。

初めは、東書の「新しい保健」です。

多くの知識量を簡潔にまとめ、理解しやすい構成になっています。各単元の最初のページに、その単元で学習することが図式化されており、目標に向かって、どのような流れで学習するのかが分かるようになっています。自分の経験を生かして考える項目が多く、考えが深まりやすくなっています。

次に、大日本の「たのしい保健」です。

児童が興味・関心を持てるように、身近な題材が多く取り上げられています。単元配列は、段階的に理解できるよう配慮されています。資料にはグラフや写真が多く、理解の助けになるとともに、他教科との関連、学年間の系統や中学校との連携に役立てやすい構成になっています。

次に、文教社の「わたしたちの保健」です。

単元が「自分の生活をふり返る」「考える」の構成になっており、自分の生活習慣と結びつけて考えられるようになっています。特に最後には「安全宣言」「いきいき宣言」などとして、自分の言葉で発表できるようなまとめ方になっています。

次に、光文の「小学保健」です。

単元の最初にある「4コマ漫画」によって、その単元で何を学ぶかが分かり、見通しを持って学習に取り組むことができます。イラストや表、グラフが多く使用されていて、視覚的

に捉えやすく、関連資料には、児童の思考を促す情報が掲載されているのが特長です。

次に、学研の「みんなの保健」です。

各時間の最初に「ここで学ぶこと」が記載されているので、めあてを持ちやすい構成になっています。「かがくの目」という資料を配置し、児童の興味・関心や学習内容を深めさせようとする記述があります。資料やグラフが豊富であり、児童が考えを深める手掛かりになりやすいのが特長です。

続きまして、外国語につきましては出版社は7社でございます。

初めは、東書の「NEW HORIZON」です。

学習の目標と流れが明確なスモールステップの4パート構成になっていて、書く活動、交流活動、文法等に取り組みやすくなっています。既習事項を生かした学びができる構成になっていて、ワークシートやQRコードの動画など、主体的な学びに取り組める工夫がされています。

次に、開隆堂の「JUNIOR SUNSHINE」です。

音と文字を結び付ける活動や、「読める」「書ける」学習が様々な手立てで工夫されています。歌やゲーム、チャンツが充実しており、児童が楽しく学ぶことができます。6年生では、中学校とのつながりを踏まえ、発展的内容の学習を主体的に取り組めるようになっています。

次に、学図の「JUNIOR TOTAL ENGLISH」です。

学習活動実践例が明示されており、単元の目標や、1単元の流れが明確になっています。教科書サイズがA4で、書き込みがしやすいのも特長です。音声教材が充実しており、他教科と関連した教材によって、児童の興味や関心を引き出す工夫がされています。

次に、三省堂の「CROWN JR.」です。

分かりやすいパターン化された紙面構成で、イラストは児童の学習意欲を高める内容となっています。実生活に生きる表現が提示されているのも特長です。QRコードを読み取って、イラストを見ながら音声を聞くことで、聞き取れることができた達成感を味わうことができます。

次に、教出の「ONE WORLD SMILES」です。

英語好きな児童を育てるための様々な手立てがとられています。コミュニケーションをとるために必要な言葉を習得できるよう、対話的な学びを実現する教材が多くなっています。発音を意識する教材や、フォニクスが計画的に導入されているのも特長です。

次に、光村の「HERE WE GO！」です。

教科書全体がオールカラーで、児童への視覚支援の手立てがなされています。英語が苦手な児童でも、学習意欲が高まるように様々な工夫がされています。文字の学習について、2年間を通して段階的に学習することができる配列になっています。

次に、啓林館の「BLUE SKY ELEMENTARY」です。

アルファベットだけでなく、フォニックスにも対応しています。教員・児童・保護者のそれぞれの視点から見ても、学習しやすいよう配慮がされています。「WE CAN!」の題材・配列を踏まえて、語彙や表現を網羅しており、これまでの実践の蓄積を生かすことができます。

最後に、道徳につきましては出版社は8社でございます。

初めは、東書の「新訂 新しい道徳」です。

活動型の教材が豊富に入っており、「考え議論する道徳」の授業が組み立てやすくなっています。学習の仕方の例が、児童の関心を引く工夫がされています。「いじめのない世界へ」などの扉のページが児童への問いかけとなり、導入につなげやすくなっています。また、教材ごとに学習のテーマが明示されています。

次に、学図の「かがやけみらい 小学校道徳」です。

教科書が「まなび」「きづき」の冊子に分かれており、児童が問題意識を持って取り組めるようになっています。教材が内容項目ごとに配列されており、系統的に学習することができます。教材ごとにQRコードが付いており、補助教材にリンクするように工夫されています。

次に、教出の「小学道徳 はばたこう明日へ」です。

児童の発達の段階に応じた資料が掲載されています。「いじめ」「生命」「情報モラル」を重点テーマとしています。教材文の最後にある学びの手引きにより、児童が議論しながら、多様な考えに触れられるよう工夫されています。日本各地の教材が取り上げられているのが特長です。

次に、光村の「道徳 きみがいちばんひかるとき」です。

「命」を最も大切なものと位置づけ、児童一人一人が自他を大切に思えるように工夫されています。また、学校生活の実態と、それに伴う児童の成長を考慮した年間の学習構成となるように工夫されています。人権教育に関する教材も掲載されているのが特長です。

次に、日文の「小学道徳 生きる力」です。

イラストと発問のみのページが設定され、体験的・問題解決的な学習を行いやすい工夫がされています。「人との関わり」に重点を置き、年3回、いじめ防止の教材を複数回にわたって扱うように構成されています。取り外し可能な道徳ノートが付属しているのが特長です。

次に、光文の「小学道徳 ゆたかな心」です。

言語活動や体験的な活動を通して考えを深め、より深い学びを引き出そうとする教材があります。他教科や家庭・地域での生活へ学びを広げるための詩やコラムが用意されております。学習効果を高めるデジタル教材が用意されているのが特長です。

次に、学研の「新・みんなの道徳」です。

「考え、議論する道徳」の実現のため、児童の問題意識である「問い」を大切にしています。教科書の冒頭に、まとめるページ、それに合わせて巻末に1年を振り返るページがあります。全ての学年において「生命の尊さ」の教材を3点ずつ掲載しているのが特長です。

次に、廣あかつきの「小学生の道徳」です。

掲載教材は、昔から親しまれている作品から、現代的な課題に関するものまで、多様な内容がそろっています。「学習の道すじ」で学習を進め、「学習を広げる」や「考えよう、話し合おう」で発展的に考える構成となっています。重点項目の一部は、2時間構成になっているのが特長です。

以上で、小学校各教科教科書見本の内容説明を終わらせていただきます。

○池谷教育長 五十嵐委員長、長時間にわたり、ありがとうございました。

これから質疑に入りますが、先ほど御説明いたしましたように、質問があれば教科書採択資料作成委員会の委員長、委員にお答えをいただき、内容をさらに深めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、国語から順に種目ごとに質疑応答を行いたいと思います。

まず、国語からいきたいと思います。

大野委員、よろしくお願いいたします。

○大野委員 それでは、1点、質問をさせていただきます。

国語の学習は、それをきっかけにしまして、子供たちが読書に親しむようにすることも大変大事なことだと思っております。それには、何よりも教科書で取り扱う物語、これが読書の楽しみを体感させ、次につなげるようなものであることが必要だと思っております。各社、取り扱っている題材、共通のものもあれば、1社のみ採用しているものもございます。この題材の取り上げ方について、調査研究委員会で議論されたことはございますでしょうか。お教えてください。

中村教科書採択資料作成委員会委員、お願いします。

○中村教科書採択資料作成委員会委員 授業を通して、物語という作品に触れる機会をつくる

ということは、単に国語科の指導ということの域にとどまらず、確かな人間を育成していくという上で、重要な要素だと考えます。教材そのものが、児童の探求心を育てるといような見方もできると思います。作品には、それぞれ固有の良さがあり、それを指導者が自身の持ち味を生かして、どのように指導するかが大切になってまいります。また、教材に触れたことを契機に、他の作品に興味を持たせるなど、日常的な活動として読書につなげていく工夫が必要だと感じます。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

大野委員、いかがでしょうか。

○大野委員 ありがとうございます。

○池谷教育長 その他、いかがでしょうか。

比留間職務代理人、お願いします。

○比留間職務代理人 学習指導要領の中で、伝統文化に関する学習を重視することが必要と書かれていたかと思うんですが、各社、その扱い方であったり、記載されている量であったりというのが様々であると感じました。調査研究委員会では、そのあたりについて何か話題になったでしょうか。

○池谷教育長 中村委員、お願いします。

○中村教科書採択資料作成委員会委員 伝統文化に関することについては、日本の伝統について学び、そしてその良さを実感し、ひいてはそれを次世代につないでいこうとする姿勢を身に付けるということが、大切になってくると思います。このことから、委員会では教材そのものの量というよりも、無理なく自然な流れで考え、そして課題を追求していく、そのような学習活動のプロセスが大切だという話になっております。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

比留間職務代理人、いかがでしょうか。

○比留間職務代理人 ありがとうございます。

○池谷教育長 その他、いかがでしょうか。

潮委員、お願いします。

○潮委員 武蔵村山市では、独自の漢字検定を作成して実施していると聞いておりますけれども、もちろん各学校で工夫をなされ、指導されているとは思いますが、漢字の指導という観

点から各社の違いなどがあるのか、もし調査委員会で話題になっているようであればお教えください。

○池谷教育長 中村委員、お願いします。

○中村教科書採択資料作成委員会委員 学習した漢字の筆順などが掲載されているものがあります。また、作品の漢字をやや大きく表示しているなど、見やすさに配慮をしているものもあります。漢字の指導という観点については、特に委員会で話題に上がることはなかったのですが、漢字検定の意図、これを達成するためには、お話のとおり各校で取組をどのように工夫していくのかというところが、大切になってくると考えます。

以上です。

○池谷教育長 潮委員、いかがでしょうか。

○潮委員 ありがとうございます。

○池谷教育長 杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 今回、国語は全部で4社あるんですが、5・6年生の教科書が上下巻に分かれているものと、1冊になっているものがありますが、活用に当たって、その良し悪しなど、調査研究委員会で話題になったことがありましたら、教えていただければと思います。

○池谷教育長 中村委員、お願いいたします。

○中村教科書採択資料作成委員会委員 合本になっているものは、それなりに重量があるわけなんですけれども、児童にこの1年間の学習の見通しを持たせながら、学習活動を進めていくことができると思います。年度末あたりのページを見たときに、少しは難しく感じられるかもしれませんが、しかし、自己の成長に期待する児童が出てくるとも考えられますし、余裕のある児童なら目を通して先を予習するというようなことも可能です。

上下分冊になっているものは、合本ほどではありませんが、学習期間を見通した学習活動を行うことができます。それからランドセルが重たいというようなことに関連しますが、合本に比べては半分になりますので、軽量化につながるというメリットがあると考えられます。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

杉原委員、いかがでしょうか。

○杉原委員 分かりました。ありがとうございます。

○池谷教育長 その他、委員の皆さん、よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 それでは、次に書写に移りたいと思います。

比留間職務代理人、お願いします。

○比留間職務代理人 書写は、国語という教科の中に含まれているものかと思うんですが、例えば単純に国語の教科書と同じ会社でないと不都合などあるのか、調査研究委員会のお考えを伺いたいと存じます。

○池谷教育長 中村委員、お願いします。

○中村教科書採択資料作成委員会委員 書写の目的に照らしまして、国語の教科書との連携を図って指導効率を上げていくということはないと考えます。書写の指導には、とめ、はね、払い、反り、画の長さなどといったポイントがあります。児童の学習意欲を高めて、そのポイントにどのように注目させて、またイメージさせて活動させるのかというところが、大事になってくると考えます。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

比留間職務代理人、いかがでしょうか。

○比留間職務代理人 ありがとうございます。

○池谷教育長 その他、いかがでしょうか。

潮委員、お願いいたします。

○潮委員 東京書籍のみ教科書の大きさが少し大きくなっていますけれども、教科書の大きさについて、何か委員会の中で話題に上がりましたでしょうか。

○池谷教育長 中村委員、お願いします。

○中村教科書採択資料作成委員会委員 大きさというよりも、やはり教科書の中身の内容面ということになってくるのではないかと思います。大きいものについては、教科書の文字が半紙に実際に書くときの大きさに近いというようなことが、メリットとして挙がると思いますが、児童にとって学習をしやすいメリットというよりも、その物理的な大きさについての意見ということについては、特に委員会で話題になったことはないです。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

潮委員、よろしいでしょうか。

○潮委員 はい、ありがとうございます。

○池谷教育長 その他、いかがでしょうか。

大野委員、お願いします。

○大野委員 はがきや封書の書き方なのですが、全ての教科書で取り上げられておりますけれども、その取扱い方、それぞれ若干の違いがあるように感じました。その点について、調査研究委員会、何かお話が出ましたでしょうか。お願いいたします。

○池谷教育長 中村委員、お願いします。

○中村教科書採択資料作成委員会委員 取扱い方の違いにつきましては、特に話題に上ったことはなかったんですけども、先日、全国学力・学習状況調査の結果で、この点についてポイントが下がっているというような報道があったかと思います。取扱い方の差ということよりも、実際のその用途に応じた書き方の習得については、今、現代の児童の実態に即した適切な指導、そしてまた継続することが大事なのではないかなと考えております。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

大野委員、いかがでしょうか。

○大野委員 結構です。

○池谷教育長 その他、いかがでしょうか。

杉原委員、よろしいでしょうか。

○杉原委員 はい。

○池谷教育長 ありがとうございます。

書写を終わりました、次に社会に移りたいと思います。

比留間職務代理人、お願いします。

○比留間職務代理人 東京書籍のみ5年生、6年生の教科書が上下巻の分冊になっていると思います。これについてですが、新しい学習指導要領への移行ということも踏まえまして、調査研究委員会では何か分析はされたでしょうか。

○池谷教育長 五十嵐教科書採択資料作成委員会委員長、お願いします。

○五十嵐教科書採択資料作成委員会委員長 新しい学習指導要領では、児童がより主体的に学ぶことが重要視されております。この点に関して、教科書がテーマ別に分冊されていることによって、それぞれの内容に適した編集がなされているという特長があります。また、これによって児童が、今、何を学んでいるかをよりの確に把握することができ、学びの主体性に関与するものと考えております。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

比留間職務代理者、いかがでしょうか。

○比留間職務代理者 はい。

○池谷教育長 その他、委員の皆さん、いかがでしょうか。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 新しい学習指導要領の中で、社会的な見方、考え方を働かせて、多角的に考えたり、解決に向けて選択、判断したりする力、適切に表現する力を養う指導が重視されていますが、それに関連して調査研究委員会では、どのような話題が出されたのか、お願いいたします。

○池谷教育長 五十嵐委員長、お願いします。

○五十嵐教科書採択資料作成委員会委員長 それぞれの教科書ごとの特長をお話をしたいと思っています。

教育出版の教科書では、各授業ごとの学習問題やめあての提示が、非常に構造的になされています。また、児童の生活体験から考えやすい事象提示をされていることが特長かと思えます。

東京書籍の教科書では、学習問題をつかむところから、まとめる、生かすまでの基本的な流れが非常に分かりやすい構成になっております。また、1年間で学習する内容の見通し、何をどのように学ぶかが伝わりやすいということが話になりました。

日文の教科書では、社会的な見方・考え方を、時間、空間、相互関係という3つの視点で示す形にしております。また、各ページの重要事項をキーワードにして示しており、児童の印象に残りやすいという特長があります。

以上のような特長があるということで、話題になっておりました。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

杉原委員、いかがでしょうか。

○杉原委員 分かりました。ありがとうございます。

○池谷教育長 その他、委員の皆様、いかがでしょうか。

潮委員、お願いいたします。

○潮委員 学力調査を行っていると思うんですけども、その結果などから武蔵村山市の子供

たちの課題はどのような点だと捉えていらっしゃるでしょうか。また、その解決を図るために、どのような教科書が良いかということで、話題に出ていることがありましたら教えてください。

○池谷教育長 五十嵐委員長、お願いします。

○五十嵐教科書採択資料作成委員会委員長 学力調査等の結果から、本市の児童にとって、これから身に付けていくべき力、課題となるものは、やはり自ら課題を解決していく力ではないかと思います。これは日々の学習活動の中で、問題解決的な学習を積み上げることによって、育まれてくるものと思います。また、学習に対する意欲をさらに高めるということも必要だと思います。

これらのことを勘案いたしますと、教科書には問題解決的な学習を分かりやすく進めることができる構成が必要だと思います。つまり、学習問題をつかみ、調べ、まとめ、生かす、こういった流れが明確になっているものが適正だと思います。さらに、児童にとって学ぶ意味や見通しを持てること、資料の提示などに親しみやすさがあることも、大切な要素であると考えました。

以上です。

○池谷教育長 潮委員、今の五十嵐委員長のお答え、よろしいでしょうか。

○潮委員 はい。

○池谷教育長 大野委員、よろしいでしょうか。

○大野委員 はい。ございません。

○池谷教育長 ありがとうございます。

それでは、引き続きまして、次に地図に移りたいと思います。

地図につきまして、いかがでしょうか、委員の皆様。

大野委員、お願いいたします。

○大野委員 地図帳につきましては、地図に関するいろいろなルールや使い方をしっかりと理解することが大切だと思いますが、2つの地図帳について、学校現場で指導する立場から、その使いやすさなど、調査研究委員会で話し合われたことがありましたらお教えてください。

○池谷教育長 五十嵐委員長、お願いします。

○五十嵐教科書採択資料作成委員会委員長 地図帳は、来年度より3年生から利用することになっております。2社のどちらの地図帳も、3年生からの利用ということを意識して、地図の仕組みなどを解説するページを用意しています。この点に関しては、大きな差はありません。

んでしたが、帝国書院の地図帳では、地図を読み取れるようになる楽しさとか、地図を活用できる喜びといった児童の意欲や関心を高める内容が、より充実して指導に使いやすいのではないかということは話題になりました。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

大野委員、いかがでしょうか。

○大野委員 ありがとうございます。

○池谷教育長 その他、委員の皆さん、いかがでしょうか。

比留間職務代理者、お願いいたします。

○比留間職務代理者 5年生では、我が国の国土や産業について学習するかと思います。我が国の領土の範囲について、大まかに理解することが学習指導要領にも書かれているわけですが、これらについて2社の取扱いの違いなど、調査研究委員会では何か話題に上がったでしょうか。

○池谷教育長 五十嵐委員長、お願いします。

○五十嵐教科書採択資料作成委員会委員長 我が国の領土の取扱いについては、今回の学習指導要領等の趣旨を踏まえて、両社とも的確に扱われております。帝国書院の地図帳の中では、領土・領海の文言がより明確に扱われている点、領土や領海のイメージが分かりやすい図が使われているという点、そして我が国が固有の領土であるとしている場所の写真が一括して掲載されているなどの点に特長が見られました。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

比留間職務代理者、よろしいでしょうか。

○比留間職務代理者 はい。

○池谷教育長 私からよろしいでしょうか。

社会は身近な場所から学んでいくものと私は考えているんですけども、東京都、特にこの武蔵村山市や関連する自治体が分かりやすく載せてあるほうが、私は子供たちにとって良いのかなと思っているんですけども、調査研究委員会では、何かそのことにつきまして話題になりましたでしょうか。

五十嵐委員長、お願いします。

○五十嵐教科書採択資料作成委員会委員長 教科書としての地図帳は、どちらも全国版として

つくられておりました、その点に関しては大きな差はないものと考えております。ただ、東京都については、どちらの教科書とも首都として、23区をクローズアップしたページが設けられておりました。ただ、帝国書院のほうには、それに加えて、東京都とその周りというページが別途設けられておりました、武蔵村山市を含めた東京都の多摩地域も取扱われているという違いがあるということは、話題になっておりました。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

それでは、次に算数に移りたいと思います。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 算数という教科書は、単なる暗記ではなくて、1時間の問題解決学習の中で、一人一人の子供が自分の持っている力、知識、考え方、そういうものを使って解決していくということが非常に大事だと思います。習っているから、全ての子供にその知識が定着しているわけではないので、一人一人が自分で自ら解決していけるような学習の保障が大事だと思うんですが、そういう視点から教科書の特長について、調査研究委員会で話題になったことはございますでしょうか。

○池谷教育長 前川教科書採択資料作成委員会委員、お願いします。

○前川教科書採択資料作成委員会委員 算数の調査研究委員会では、やはりそういったことが話題になりまして、各社とも様々な工夫をしているんですが、やはり大切なのは1時間、1時間の学習過程だろうということでした。これまでも取り組んできましたけれども、まずは問題をしっかりと把握すること、そして見通しを持たせること、そして思考力・判断力を高めるためには、やはり自力解決の時間をしっかり設けていくこと、そして、それぞれの自力解決の結果を共有し、みんなで学び合う時間を確保すること、最後に、様々な考え方からこういったことが分かったねという理解まとめをしていくこと、この学習過程をできるような教科書が、望ましいのではないかとということで、各社とも様々な工夫はございました。また、習熟度に応じて問題の数や、問題を選択していくというところに、やはり主体的な学びがあるのではないというような意見が出ました。

○池谷教育長 ありがとうございます。

杉原委員、よろしいでしょうか。

○杉原委員 確かにそうですね。ありがとうございます。

○池谷教育長 他にいかがでしょうか、委員の皆様。

潮委員、お願いします。

○潮委員 算数の教科書は、大きさがそれぞれ異なっていたりしておりまして、学年で分冊であったり、1冊であったりということがあります。その点について、使い方に違いが出てくるのかを教えてくださいませんか。

○池谷教育長 前川委員、お願いします。

○前川教科書採択資料作成委員会委員 まず高学年、5・6年生で1冊にまとめている教科書がありました。分冊になると軽い、また1冊にすると重くなるという、そういう特長はあるんですが、1冊ですと既習事項を振り返って見るときに分かりやすい。また、既習事項を確認しやすいという、特長があるという意見がありました。

また、大きいものでは、横が21センチメートルということで、A B判と呼ぶようですが、そのような教科書もございました。委員の中からは、ちょっと使いづらいのではないかとという意見もあったのですが、反対に児童が直接そこに作図とか、記入をする場合には、大きい教科書のほうが適しているのではないかとといった意見もございました。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

潮委員、よろしいでしょうか。

○潮委員 ありがとうございます。

○池谷教育長 その他、いかがでしょうか。

大野委員、お願いいたします。

○大野委員 市議会の中でも、算数、数学の学力調査の結果等については、よく質問が出されているように思います。学力向上を考えたときに、武蔵村山市の子供たちにとって、どんな教科書が良いのか、調査研究委員会でも検討がされたのではないかと思います。お教えいただければと思います。

○池谷教育長 前川委員、お願いします。

○前川教科書採択資料作成委員会委員 先ほど思考力・判断力、また主体的な学びというような御質問がありましたけれども、やはり子供たちが主体的に学び、そして思考力・判断力を高めるということが大切です。それには、やはり基礎・基本となる力も見逃せないだろうという意見がありました。問題配布のときに、身近な事象とのつながりがはっきりしているものの提示があると関心、意欲が高まり、取組が主体的に向かわされるので、そういった教科書が良いだろうという意見がありました。また、武蔵村山の子供たちにとっては、基礎・基

本が定着できるような工夫がされている教科書、また先ほど申し上げたように、習熟度に応じた問題が取り上げられているものが良いという意見がありました。

それから、これは各教科、また各社とも今回、QRコードを、設定してあります。算数の場合ですと、授業中、タブレット等で、そのQRコードから問題を出してくるということも考えられますが、もう一つは家庭学習で、児童が自らそれを、QRコードを使って問題を練習していける、こういった工夫がされているものを大切にしていけることが必要だというような意見が出ました。

以上です。

○池谷教育長 大野委員、よろしいでしょうか。

○大野委員 ありがとうございます。

○池谷教育長 比留間職務代理人、よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 ありがとうございます。

それでは、算数を終わらしまして、次に理科に移ります。

理科について、委員の皆様、いかがでしょうか。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 各社の教科書を見比べてみますと、学習問題の提示の仕方に、やや若干、違いがあると思います。問題解決学習を進めるに当たって、何を解かなければならないかという問題というのは、非常に大事だと思うんですが、そこが明確なものと、ちょっと捉えにくいかなというものがあるように感じたのですが、調査研究委員会では何か話題になったことはございますでしょうか。

○池谷教育長 齋藤教科書採択資料作成委員会委員、お願いします。

○齋藤教科書採択資料作成委員会委員 ただいまの御質問についてお答えいたします。

例えば一例ですが、三日月とか半月などの月の見え方について、ある教科書では月の見え方が日によって変わるの、というような問いかけをして、非常に分かりやすくなっています。一方、別の教科書では、月の形はどのように変わる、というような表現がございます。この言葉だけ取り出すと、月の形は変わらないよねという話になると思うんですが、当然、授業の学習の文脈の中で出てきますので、児童はどちらにしても同じようなイメージを持つかというように想像できますし、なおかつ担任の先生がいて、その学習の流れの中で出てくる言葉ですので、違いは確かにありますが、十分、担任の先生の方で対応できる範囲かと思

われます。

以上です。

○池谷教育長 杉原委員、よろしいでしょうか。

○杉原委員 分かりました。

○池谷教育長 ありがとうございます。

その他、委員の皆様、いかがでしょうか。

では、大野委員、お願いいたします。

○大野委員 理科の教科書、各社、並べてみますと、全体的に大き目のサイズの教科書が多いなという印象を持ちました。また、その中でも各社、微妙に大きさの違いがありますが、そのあたりの使い勝手など、調査研究委員会で話に出ていましたらお教えてください。

○池谷教育長 齋藤委員、お願いします。

○齋藤教科書採択資料作成委員会委員 お答えします。

理科の教科書につきましては、昔からすると、随分大きくなりました。それから、全ページ、カラーになってきています。紙質も大変良くなってきて、私も今勉強したら分かりやすいだろうと正直思います。その中で、大きくなってきている分、例えばキャラクターが入ってきて、いろいろと説明をするスペースがあったり、教科書の紙面自体の余裕が生まれたので、子供たちにとってより分かりやすくなってきたと捉えることもできるかもしれません。作る側として自由度が高くなってきたというように思われます。また、そういうことを表に出してきている出版社もあるようです。

ただ、一方で、先ほど他の教科でもありましたけれども、重くなるとか、そういうような懸念については当然あるわけですが、たしか一番大きい東京書籍についてはそもそもの紙質を工夫して、従来のものよりも10%ほど軽くしているというものもありました。当然トータルとすれば少し重くはなっているんですが、児童の昨今のランドセルが重くなる云々についても、できるだけ対応していると、考えております。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

大野委員、いかがでしょうか。今の説明、よろしいでしょうか。

○大野委員 はい、ありがとうございます。

○池谷教育長 その他、委員の皆様、いかがでしょうか。

潮委員、お願いします。

○潮委員 私としましては、理科というのは、観察や実験というのは大切だと思っているんですが、全国的に実験の結果を分析して理解し、考察して説明するというところに課題があると言われておりますが、調査研究委員会では、そのような視点から何か分析はされていますでしょうか。

○池谷教育長 齋藤委員、お願いします。

○齋藤教科書採択資料作成委員会委員 お答えします。

理科の場合には、問題解決のプロセスが非常に重視されます。問題をつかむ、予想する、そしてそれを解決する実験、または観察を計画し、その実験・観察の結果から考察をして、結論に導くという流れになると思うんですが、実はこのことにつきましては、従前より本市の小学校教育研究会理科部会でも実は長年重視しており、様々な授業研究をしてきております。

今回、その視点で教科書を見直してみたのですが、どの教科書もすべてのページの左側に、その問題解決の今どこの段階にいるのかというのが明確に示されています。これは以前、あまり見なかったなと思います。そして、キャラクターなどが、考察というのはどういうことなのか、結論とはどういうことなのかについて説明がされている。ですから、子供の主体的、あるいは自学自習の中でも、子供たちにとって分かりやすく、どの教科書会社も随分苦心して作ってきているというように思いました。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

潮委員、いかがでしょうか。今の説明、よろしいでしょうか。

○潮委員 はい、結構です。ありがとうございます。

○池谷教育長 その他、いかがでしょうか。

比留間職務代理者、特によろしいでしょうか。

○比留間職務代理者 はい。

○池谷教育長 ありがとうございます。

理科、終わりたいと思います。

それでは、次に生活に移ります。

生活につきまして、いかがでしょうか。

潮委員、お願いいたします。

○潮委員 入学したばかりの1年生にとって、この生活科の学習というのは、学校の様々なこ

とを知る上で、とても大切だと思います。各社の初めといひましようか、スタートのカリキュラムとしての内容の取扱いというのはどのようになっているか、教えていただけますでしょうか。

○池谷教育長 前川委員、お願いします。

○前川教科書採択資料作成委員会委員 生活科の教科書、各社の教科書とも非常に開いたときに、おっという感じがいたします。非常に写真や挿絵が多く取り込まれていて、文字数をできるだけ抑えて、そういったところでインパクトを与え、子供たちに考えさせていこうというような工夫がありました。また、キャラクターを設定して、その吹き出しや会話が、そこに載せてありました。これは低学年の先生から聞きましたところ、そういったところを読むことによって、他者の考え方に気付かせていく、考え方の広がりについけていく、そういった工夫になっているという意見がありました。

また、教師用の指導に当たっても、参考として生活科スタートブックというようなものがありまして、具体的な授業展開とか支援方法が記載されていて、非常に低学年、特に1年生に生活科を学ばせる大きなきっかけになるのではないかという意見がたくさんありました。

○池谷教育長 ありがとうございます。

潮委員、よろしいでしょうか。

○潮委員 はい、結構です。ありがとうございます。

○池谷教育長 その他、いかがでしょうか、委員の皆様。

大野委員、お願いします。

○大野委員 入学したての1年生につきましては、まずは学校生活を送る上で、いかに安全を確保するか、そこをしっかりと指導することが重要だと考えております。そこで、そういう視点で見ますと、安全に関する取扱い、各教科書によって若干の違いがあるようにも思いました。これについて、調査研究委員会でお話が出ましたらお教えください。

○池谷教育長 前川委員、お願いします。

○前川教科書採択資料作成委員会委員 御指摘のとおり、安全についての指導、大変大切ということが、調査研究委員会の中でも話し合いがされました。各社とも、それに対する記述等を示してあるんですけども、ある教科書ではページの端に約束とマナー、また衛生面や安全というように示してありました。児童が非常に意識しやすい工夫がされているので、こういった工夫も大切だという意見がありました。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

大野委員、今の説明でよろしいでしょうか。

○大野委員 ありがとうございます。

○池谷教育長 その他、いかがでしょうか。

比留間職務代理人、お願いします。

○比留間職務代理人 家庭の学習の中では、児童の気付きであったり、児童に考えさせることが大事かと思います。各社、この部分の取扱いについては、写真やイラストを多く取り入れていると思うんですが、その意図についてはどうお考えかお教えいただきたいと思います。

○池谷教育長 前川委員、お願いします。

○前川教科書採択資料作成委員会委員 生活科、1・2年生の児童には、自分たちの身近なものとして捉えられるような、具体的な場面が写真やイラストで示されていることが大変効果的ではないかと。生活科の教科書、各社とも非常に工夫をされていて、きれいな絵、写真や画像が載っておりました。そういった工夫が各社ともありましたけれども、特に写真が非常に鮮明なものが多かったと思います。

それから、先ほどもお話ししましたが、キャラクターを設定しているものもあり、これは低学年の児童にとって、自分と同化させて、そのキャラクターがつぶやくこととか、または案内することに非常にそこに入っていくやすいような工夫になっている、また、植物や昆虫などの写真も大変多く、これはもう図鑑としても十分機能できるという意見もたくさんありました。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

比留間職務代理人、いかがでしょうか。

○比留間職務代理人 ありがとうございます。

○池谷教育長 その他、杉原委員は特によろしいですか。

生活を終わらまして、次に音楽に移りたいと思います。

潮委員、お願いいたします。

○潮委員 音楽は、子供たちが主体的に取り組むためにも、歌唱教材だけではなく、器楽教材についても、子供の発達の段階に応じた内容が大切だと考えておりますが、2つの教科書の違いについて、調査研究委員会の中で何か話題に上がりましたでしょうか。

○池谷教育長 村山教科書採択資料作成委員会委員、お願いします。

○村山教科書採択資料作成委員会委員 話題になりました。まず、前提として、音楽の教科は市内の学校の全てにおいて、高学年は専科の教員が指導しているということ、低学年は、学級担任の先生が指導しているということは大きな前提になります。その上で、専科にとっても、学級担任にとっても、どちらにも使いやすい教科書であるということは、とても大事なことと思っております。

その中で、先ほど五十嵐委員長から説明がありましたけれども、委員会の中では特に教育出版社の教材については、非常に教材のバラエティーに富んでおり、種類も多く、非常に資料的な部分が大変多い、非常に面白い教科書だという意見がたくさんありました。

それに比べて、教育芸術社のほうは、曲数的なものは非常に少ないんですが、どの子にも非常に分かりやすく、楽譜も分かりやすく、指示も分かりやすい。特に今御質問のありました器楽の教材についての一つ一つのパートが、非常に易しくできておまして、どの子にも取り組みやすいということが大きな特長であるという意見がありました。

○池谷教育長 潮委員、いかがでしょうか。

○潮委員 はい。

○池谷教育長 その他、いかがでしょうか。

比留間職務代理人、お願いします。

○比留間職務代理人 音楽においても、我が国の伝統的な音楽に関する指導の充実が必要であると考えております。例えば民謡など、我が国の伝統的な歌唱教材であったり、和楽器の取り上げ方であったり、2社で若干違いもあるようですが、そのあたりについてはどのようにお考えでしょうか。

○池谷教育長 村山委員、お願いします。

○村山教科書採択資料作成委員会委員 今、御指摘がありました伝統音楽についてですが、先ほども申し上げたように教育出版社の教科書については、非常に豊富な資料がたくさん載っております。例えば伝統的な雅楽ですとか、そういったものについても非常に細かい資料が載っておりますし、4年生の「さくら」を取り上げる際には、実際に箏曲で使われている縦書きの楽譜がそのまま載っていたりということで、非常に専門的な、内容としても高度なものが取り上げられています。

それに対しまして教育芸術社のほうは、取り上げられている資料は少ないんですが、一つ一つが非常に丁寧な細説、それから分かりやすい解説、あとはいろいろな楽器の説明などについても、種類は多くないんですけれども、一つ一つが分かりやすい説明がついていること

が2社の大きな違いだと思われま

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

比留間職務代理者、よろしいでしょうか。

○比留間職務代理者 はい。

○池谷教育長 その他、いかがでしょうか。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 どちらの教科書にも、QRコードを用いて学習できるようになっている工夫がありますけれども、このQRコードの活用について、調査研究委員会では何か話題になりましたでしょうか。

○池谷教育長 村山委員、お願いします。

○村山教科書採択資料作成委員会委員 QRコードは、他の教科でもそうですが、今回の教科書の改訂で、全てにおいて取り上げられている大事なコンテンツだと思っております。この2社に関しまして、どちらも大変よくできているんですが、QRコードについては、どちらかという教育出版社のほう資料が多彩でたくさん載っていて、写真も非常にきれいなものがたくさんあるという特長だと思います。

教育芸術社のほうは、数は少ないんですが、実際に音楽ですので、音声で聞けるものが多いのではないかという意見がありました。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

杉原委員、いかがでしょうか。

○杉原委員 ありがとうございます。

○池谷教育長 大野委員、よろしいでしょうか。

○大野委員 ないです。

○池谷教育長 それでは、これで音楽を終わりたいと思います。

次に、図画工作に移りたいところですが、先ほど開会前にお知らせしましたように、本日、長崎に原爆が落ちまして、74年が経過しますので、暫時休憩といたしまして、この後、原爆死没者の冥福と世界恒久平和の実現を祈念するため黙とうをささげたいと思います。午前11時2分から、放送が入る予定でございますので、しばらく休憩させていただきます。

では、暫時休憩いたします。

午前10時57分休憩

午前11時03分再開

○池谷教育長 休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第2、議案第44号の議事を継続いたします。

それでは、先ほど音楽が終わりましたので、次に図画工作に移りたいと思います。

委員の皆様、いかがでしょうか。

杉原委員、お願いします。

○杉原委員 新しい学習指導要領の目標は、表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を育成するというようになっています。この点に関連して、調査研究委員会で、2つの会社の教科書の違いなどについて話題になりましたでしょうか。

○池谷教育長 鶴田教科書採択資料作成委員会委員、お願いします。

○鶴田教科書採択資料作成委員会委員 それでは、お答えいたします。

違いという点では、2社ともに大きな違いが話題になるようなことはありませんでしたが、この生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を育成するという、このことに関しては3つの目標、1つ目が知識・技能、2つ目が思考力・判断力・表現力等、3つ目が学びに向かう力、人間性等を掲げて、学習の見通しを持たせるとともに、振り返りが行えるような工夫が双方ともなされていました。

特段ということになるかと思いますが、開隆堂においては、より特長的だったのが、1年間の題材が系統的に配置されているという点、それから日文の方は、この教科目標を鑑みて、自然や多様な材料、そして美術作品の写真等が多く掲載されているということなどが話題に上りました。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

杉原委員、いかがでしょうか。

○杉原委員 結構です。

○池谷教育長 その他、図画工作につきましていかがでしょうか、委員の皆様。

潮委員、お願いいたします。

○潮委員 児童によっては、作品をつくるときに、そのつくりたいイメージというのが発想しにくかったり、取組に時間がかかってしまう子がいるように感じております。そういった場

合に、参考となる資料や、作品例の量について、調査研究委員会で話題に上がりましたら教えてください。

○池谷教育長 鶴田委員、お願いします。

○鶴田教科書採択資料作成委員会委員 今、潮委員のほうから御指摘いただいた点について、ふだんの日常の指導の中でも課題になっているところかというようには感じています。作品例の量的なことについては、特段の話題にはならなかったです。2社ともに、作品例は多く掲載されておりました。

開隆堂は、学習意欲を高める魅力的な作品であったり、児童のコメントが豊富に、併せて掲載されていたこと。また、日文は、児童の発想を広げる多様な題材を提示していたり、それから児童の活動中の写真や作品ですね、それはより大きく掲載されているのではないだろうかというような点について話題に上りました。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

潮委員、いかがでしょうか。

○潮委員 ありがとうございます。

○池谷教育長 その他、いかがでしょうか。

比留間職務代理者、お願いします。

○比留間職務代理者 図画工作においては、創造性を育むような造形体験などの活動が重要であると考えられます。その点については、それぞれの教科書にどう反映されているか、伺いたいと存じます。

○池谷教育長 鶴田委員、お願いします。

○鶴田教科書採択資料作成委員会委員 お答えいたします。

図画工作については、2社でありますので、双方、比較しながら進めていたわけですが、でも、まず日文ですが、題材、それぞれの各所に造形遊びが豊富に取り上げられていました。工作とか絵画だけでは味わえないような面白さや、楽しさを感じとれるような工夫がなされているのではないかなということでした。それから、開隆堂は、各学年、共同で行う活動が多くて、それぞれの活動を通して視野を広く持って、他者を認める心が育つような工夫がなされているという意見が出されました。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

比留間職務代理者、よろしいでしょうか。

○比留間職務代理者 はい。

○池谷教育長 その他、いかがでしょうか。

(「ごさいません」と呼ぶ者あり)

○池谷教育長 ありがとうございます。

では、これで図画工作を終わりたいと思います。

次に、家庭科のほうに移りたいと思います。

委員の皆様、いかがでしょうか。

比留間職務代理者、お願いします。

○比留間職務代理者 新たな学習指導要領の目標には、家庭生活を大切にすることを育み、家庭や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として生活をより良くしようと工夫する実践的な態度を養うとありますが、各社その点についての扱いはどのようになっているのでしょうか。

○池谷教育長 井内教科書採択資料作成委員会委員、お願いします。

○井内教科書採択資料作成委員会委員 その点について、お答えいたします。

各社とも扱いについて大きな差異はございません。ただ、編集方針に少し違いがあるように思います。東書は、家庭科の学習を通して、子供たちが生活をしていく楽しさを実感し、力強く未来を開くための資質・能力を育成することを大きな目標と、目指しているところです。開隆堂は、自分や家族の生活を見つめ直し、生活をより良くしていくこと、また生活から課題を発見し、解決するための見方、考え方を身に付けることなどを目指しての編集方針となっております。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

比留間委員、よろしいでしょうか。

○比留間職務代理者 はい。

○池谷教育長 ありがとうございます。

その他、委員の皆様、いかがでしょうか。

大野委員、お願いします。

○大野委員 武蔵村山市では、お茶や村山大島紬など、地域の伝統文化についての学習も行っていきますよね。それに関連して、家庭科では伝統文化についての学習も行われますけれども、

それについて各社の取扱い、それぞれ違いがあるかと思いますが。調査研究委員会で話し合われたことがありましたら、お教えてください。

○池谷教育長 井内委員、お願いいたします。

○井内教科書採択資料作成委員会委員 お答えいたします。

伝統文化については、委員会の方でも話題となりました。御存じのように東書と開隆堂の2社でございますので、実際に確認作業をしてみました。東書は、教科書の中に、日本の伝統というマークがありまして、それが掲載されていて、日本茶、御飯、みそ汁、伝統食品、郷土料理、また和の手ぬぐいなどを特集しています。開隆堂は、伝統的な生活文化に関連する学習項目には、同じように伝統というマークを付けてあって、特設ページ、またチャレンジコーナーでは日本の伝統文化を紹介しています。また、両者とも日本の郷土料理名などの名前、場所が分かる一覧表を掲載しております。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

大野委員、いかがでしょうか。

○大野委員 ありがとうございます。

○池谷教育長 その他、いかがでしょうか。

潮委員、お願いいたします。

○潮委員 教科書の大きさについて、2社で違いがあることが特長だと思いますけれども、家庭科という教科の時数上、家庭に持ち帰らずに学校に置いていくことが多いかと思うので、持ち運びという点では課題にはならないとは思いますが、指導していく上で教科書の大きさについては何か話題が上がりましたでしょうか。

○池谷教育長 井内委員、お願いします。

○井内教科書採択資料作成委員会委員 東京書籍の方がA4判となっております。また、開隆堂のほうはAB判となっておりますので、開隆堂の方が高さが5センチメートルぐらい小さくなっているというイメージです。ただ、A4判のほうの東京書籍ですが、実物大の作業場面の写真が豊富に掲載されておりまして、基礎・基本の技をいつでも確認できるという工夫が見られているので、指導しやすいのではという点が話題になりました。逆に開隆堂の方は、若干小さいわけで、作業学習をするときに机の上がすっきり使えるというか、邪魔にならないという点で、そういう話は出ました。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

潮委員、よろしいでしょうか。

○潮委員 はい、結構です。ありがとうございます。

○池谷教育長 その他、委員の皆様、いかがでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 ありがとうございます。

これで家庭を終わらせていただきます。

それでは、次に体育（保健）に移りたいと思います。

委員の皆様、いかがでしょうか。

大野委員、お願いいたします。

○大野委員 保健の授業では、健康と安全に関する基礎的な内容、これを重視していると思います。その扱い方について、調査研究委員会で話し合われたことありましたらお教えてください。

○池谷教育長 鶴田委員、お願いします。

○鶴田教科書採択資料作成委員会委員 それでは、お答えをいたします。

どの教科書も健康、安全に関する基礎的な内容ということでは、重視をされているんだなということで、我々のほうとしても調査をしてまいりました。その中で、教員として、調査委員の中で話題になった点が2点ありまして、1つはその知識を自分の健康課題として把握したり、改善したりする、そういう力をこの保健の教科書を通して身に付けさせなければならない。また、知識だけではなくて、その知識をいかに行動に結び付けるか、結びつける力が身につくかということが非常に重要であろうと。そういう観点から、この教科書の調査をしてきました。ですので、報告として上げている書面の中には、そのようなことが盛り込まれていると思います。

それから、現代を生きる子供たちということで、様々な健康課題があるわけですが、例えば食育だったり、情報だったり、あるいは共生、がん教育などについてもそうかもしれませんが、それがどのように取り上げられているのかということについても、それを差異を探しながら報告をさせていただいたところでございます。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

大野委員、いかがでしょうか。

○大野委員 ありがとうございました。

○池谷教育長 他にいかがでしょうか、委員の皆様。

比留間職務代理人、お願いします。

○比留間職務代理人 保健の学習は、1年間で4時間から8時間程度ということを知りました。

学習時間、学習の頻度としては、とても少なく、限られた中で、これを消化するため、教材の量ですとかページ数について、委員会では何か話題に上がりましたでしょうか。

○池谷教育長 鶴田委員、お願いします。

○鶴田教科書採択資料作成委員会委員 こちらも、どの教科書も知識量は確かに多いんですね。

短い時間の中ですけれども、やはりこれは伝えなければいけない、教えなければいけないという知識量は多いんですけれども、簡潔にまとめられていたという意見が、多くの委員から出されました。

ただ、その中で、児童の思考を広げたり、深めたりすることにとっては、その提示方法などが、各社どのように違いがあるのかなということについては、視点にはなっていましたね。例えば掲載されているグラフの形態であるとか、デジタル教材、あるいは動画、それから先ほどからも話題になっておりましたけれども、ウェブサイトとの関連ですよね。このようなことが、各社どのような差異があるのかというようなことについては、話題になりました。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

比留間職務代理人、よろしいでしょうか。

○比留間職務代理人 はい。

○池谷教育長 ありがとうございます。

その他、いかがでしょうか。

杉原委員、お願いします。

○杉原委員 小学校は6年間ありますので、この6年間に子供たちの心と体は大きく変化していくと思います。心と体の変化について、子供たちが実態や発達に応じて、自分で肯定的にそれを受けとめて、そして解決していくということがすごく大事だと思います。教科書に関連して、この心身の発達について、どのように子供たちは受けとめて、肯定的に解決できるか、その工夫については何か話題に上りましたでしょうか。

○池谷教育長 鶴田委員、お願いします。

○鶴田教科書採択資料作成委員会委員 各社、この社はここが、この社がここがというような

ところにつきましては、報告書に上げさせていただいておりでございますけれども、どの教科書でも体の変化等については、自分と他の人たちとの発育、発達の違いにきちんと気付かせて、変化への不安であるとか、あるいは嫌悪感であるとか、劣等感を除く対応になっているかどうかということが柱となります。

教科書を扱うに当たっては、それをどう駆使するかという教員の問題もありますが、そのような視点で各社の教科書を見てきたつもりでございます。話題になっている性的マイノリティーに関してですが、今回、教育、指導は行わないというような、文科省のほうからのお話があったと思うんですけども、性的マイノリティーの記述については、光文書院の3・4年生、性についての悩みというくくり、それから文教の5・6年生、寄り添うことの大切さについての記述がございました。

それを見ながらですけども、まず私たち教える教員の側が、こういったことに関しての深い学びの上に立って、伝え方を工夫していかなければいけないという意見が出されました。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

杉原委員、よろしいでしょうか。

○杉原委員 ありがとうございます。

○池谷教育長 その他、特によろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 ありがとうございます。

これで保健を終わらして、次に英語に移りたいと思います。

委員の皆様、いかがでしょうか。

比留間職務代理者、お願いします。

○比留間職務代理者 新学習指導要領の実施に伴いまして、外国語活動、外国語の指導について、本市では先行実施して、中学校の外国語への円滑な接続ができるよう努めてきたわけですが、英語の教科化にあって、読むこと、書くことが指導される点について、何か検討されたかお教えいただきたいと存じます。

○池谷教育長 村山委員、再度お願いします。

○村山教科書採択資料作成委員会委員 今の2点について検討いたしました。

まず、読むことについてですけども、小学校の段階では、アルファベットの文字を識別して、その読み方が発音できるということを非常に重視しています。あくまでも十分に耳で

聞いてしゃべってという、そういった音声で慣れ親しんだ、そういった単純化された簡単な語句ですとか、表現の意味が分かるということが大きな狙いになっていますので、書くことについても、あくまでもアルファベットの大文字や小文字の表記ができること、それから自分で十分にしゃべった上で、そのしゃべった簡単な文体が書けるようにすること、そういったことが狙いとなっています。それらのことについてはどの教科書においても、中学校に向けての接続という点では十分に工夫されているという意見でした。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

比留間職務代理者、よろしいでしょうか。

○比留間職務代理者 ありがとうございます。

○池谷教育長 その他、いかがでしょうか、委員の皆様。

潮委員、お願いします。

○潮委員 多くの教科書の巻末に、付属されているコミュニケーションカードといいたいまいしょうか、単語カードですとか、絵のカードの使用方法について、調査研究委員会で話題に上がりましたでしょうか。

○池谷教育長 村山委員、お願いします。

○村山教科書採択資料作成委員会委員 このカードについては、大変話題になりました。どの会社も非常に工夫されていて、非常に使いやすいということでした。あえて言うのであれば、東書のものがとても切り取りやすく、種類が豊富でいいのかなというような意見が出ました。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

潮委員、よろしいでしょうか。

○潮委員 ありがとうございます。

○池谷教育長 その他、いかがでしょうか。

大野委員、お願いします。

○大野委員 各社を比較いたしまして、東京書籍、ここだけが別冊でDictionary というものをつけております。大変特長のある作りかなと思っておりますが、これについて調査研究委員会の中で議論されたことがありましたらお教えてください。

○池谷教育長 村山委員、お願いします。

○村山教科書採択資料作成委員会委員 これも大変話題になりました。実は先ほどのカードのときもそうだったんですが、なくしてしまうんじゃないかという意見も実はありました。ただ、この別冊は、教科書が5年生と6年生と別々になっていることに比べて、5・6年生の内容を1冊にまとめたものだったので、先ほど他の教科でもありましたが、1年分を1冊と分冊とどちらがいいのかという意見と同じように、教科書は違っても、6年生になったときに5年生で学んだ内容を振り返るにはとてもいい付録ではないかという意見でした。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

大野委員、よろしいでしょうか。

○大野委員 ありがとうございます。

○池谷教育長 その他、いかがでしょうか、委員の皆様。

ここで英語のほうを終えてよろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 ありがとうございます。

それでは、次に道德に移りたいと思います。

委員の皆様、いかがでしょうか。

比留間職務代理人、お願いします。

○比留間職務代理人 基本的な方針として、考える道德、議論する道德への転換というものが求められているかと思います。道德ノートがある教科書、それが無い教科書、様々なわけですが、別冊ノートがある中でも、そのつくりがそれぞれ違うように感じました。それについては、調査研究委員会のほうで何か話題に上がったでしょうか。

○池谷教育長 中村委員、お願いします。

○中村教科書採択資料作成委員会委員 教科書選定に当たっては、いろいろつくりの差があるわけなんですけれども、まずはどのような教材をその会社が選んでいるかというようところが大事かと思うので、そこを見ていくことが重要だというように思います。

ノートを使用させるものなどがあるわけですが、学習の進め方として各社様々形が違っておりまして、新しい提案だというように考えられると思います。考える道德、それから議論する道德、これは最終的には自分自身の中で対話する、自己内で対話していくというようなところにたどり着くことを目指していくということになるかと思いますが、今までも行われてきた道德の学習過程というものがあまして、それをさらに顕著にしていくための提案

が各社からなされているというように捉えています。どのアプローチがいいのかということについては、委員会の方ではいろいろと意見が分散していて、決め手というか、そういうものがはっきりとないということが実態でございました。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

よろしいでしょうか。職務代理者。

○比留間職務代理者 分かりました。

○池谷教育長 その他、委員の皆様、いかがでしょうか。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 道徳という教科は、物事を多面的・多角的に考えて、考えを深めて、判断力や心情を育てることが大切だと思っています。そのためには、子供たちが多様な考え方ができる題材というのが求められると思うのですが、調査研究委員会では各教科書について、その違いとか何か話題になったことはございますでしょうか。

○池谷教育長 中村委員、お願いします。

○中村教科書採択資料作成委員会委員 多面的・多角的という考え方がありまして、これは1つ、一体として捉えていくというものだというように思うんですけども、あえて2つ分離して考えるとすると、多角的に考えるということは、恐らく例えばその教材の中に登場してくる登場人物がいるわけですが、その登場人物の立場になりきって考えていくというようなことが、多角的と言えるかというように思います。それから、多面的に考えるということについては、心理面とか、あるいは倫理面というように考えることができると思います。例えば、登場人物が、これから先、どのように暮らしたと思うかというような、将来を見据えた発問などをしていくと、捉えられるかなというように考えています。

基本的には、これでは分けて、あらゆる可能性を想定して、総合的に子供たちとともに、指導者も一緒になって考えていくということが大事なんだろうというように考えます。このように考えてきますと、どの教科書も、これらに答えるような非常によい題材をふんだんに使っておりますので、なかなか迷うところだなというように考えています。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

杉原委員、いかがでしょうか。

○杉原委員 結構です。

○池谷教育長 その他、いかがでしょうか。

大野委員、お願いします。

○大野委員 道徳の教科書も、ページ数、それから大きさ、まちまちなんですが、そのあたり、
どういったものが使いやすいのか、調査研究委員会としてのお考えがあればお聞かせくだ
さい。

○池谷教育長 中村委員、お願いいたします。

○中村教科書採択資料作成委員会委員 先ほど申し上げましたけれども、各社とも新しい学習
の進め方、アプローチを提案してきているのではないかというように考えます。今、使いや
すさというところで見えますと、細かい学習の手引きというものが示されている場合もあ
るんですね。指導者が、そういうものに、なるべくとらわれない、縛られないで、ある程度、
自由な発想で指導を続けていけるというような、簡単に言うとなるべくシンプルに近いよう
な、そういうものが取組やすいものになるのかなというように考えます。児童の自分自身で、
心の中で対話していくというようなことを促していくためには、今何を考えるのかと、どこ
にたどり着くのかと、たどり着けばいいのかというようなことを、子供一人一人が確実に意
識していくということが、一番大事になろうかと思いますが、何を学んだか、何に気付いた
かというような学習の軌跡、振り返り、こういうものが、また道徳的な実践の意欲を高めて
いくことにも、つながるのではないかなと考えています。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

大野委員、よろしいでしょうか。

○大野委員 はい。

○池谷教育長 その他、よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 これで道徳を終わります。

これを持ちまして、質疑を終わりたいと思います。

ここで、10分間の休憩に入りたいと思います。

11時40分ごろに再開いたしますので、暫時休憩といたします。

長時間ありがとうございました。

午前11時32分休憩

午前11時40分再開

○池谷教育長 休憩前に引き続き会議を再開いたしますが、ここで説明していただきました教科書採択資料作成委員会委員の校長先生方、長時間ありがとうございました。ここで退出とさせていただきます。

日程第2、議案第44号の議事を継続いたします。

それでは、ここから採択するにふさわしいと考える教科書につきまして、種目ごとに協議を行います。

まずは国語です。国語は4社でございます。

委員の皆様、いかがでしょうか。

比留間職務代理人、お願いします。

○比留間職務代理人 基本的にはどの教科書も工夫して作られており、それぞれの特長があると思えました。各社、私が小学校のときに学んだ懐かしい物語なども多数ありましたが、光村図書は詩や俳句、短歌といったものが多く取扱われており、学習指導要領の伝統文化に関する学習を重視するという観点からしますと、光村図書が良いのかなと思えました。

○池谷教育長 ありがとうございます。比留間職務代理人、光村図書ですね。

その他、いかがでしょうか。

大野委員、お願いします。

○大野委員 武蔵村山市は、たしかモンゴル国のホストタウンになっていたかと思えます。モンゴルと聞きますと、私などはモンゴル相撲ですとか、モンゴル出身の力士を連想するんですけども、中学生などに聞きますと、小学校のときに国語で習った「スーホの白い馬」というんですか、そういうお話を思い浮かべる人が多いと聞いたことがございます。そのくらい国語で学ぶ物語の教材、子供の記憶に残って、子供の成長に影響を与える重要な役割を担っているものだと思ったところがございます。今回それぞれの教科書について、どんな物語が使われているかという視点で見たときに、物語の掲載数も含めまして光村図書が充実しているかなと思ったところがございます。

私としては、光村図書、これを推させていただきます。

○池谷教育長 光村図書ということで、ありがとうございます。

その他、いかがでしょうか。

潮委員、お願いします。

○潮委員 私も大野委員の意見に賛成です。同じ題材を使っているけども、文字の間隔ですとか挿絵などもそれぞれ違いました。双方、読み比べてみたときに、やはり光村図書は読みやすさ

を感じてよいと思いました。

○池谷教育長 ありがとうございます。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 各社様々な工夫がされていますが、もし1社、選ばなければならないとしたら、私も光村図書がよろしいのではないかと思います。

というのは、学習の進め方が非常に子供にとっても分かりやすく展開されているということで、それぞれについてあるのですが、例えば「やまなし」を見ると、捉えよう、深めよう、まとめよう、広げようというふうに、学習の視点に合わせて、どこから見た、どのような風景が描かれているだろうかとか、例えば深めようでは、5月と12月の2つの場面から構成されている。使われている言葉に着目して、感じたことや考えたことをまとめてみましょうとか、子供たちが読みを深めていくような、考えを深めていく手順が非常に分かりやすく書かれていると思いました。子供が自ら学べる工夫ができているという視点からも、やはり光村がよろしいのではないかとこのように思いました。

○池谷教育長 ありがとうございます。

今、4人の委員の皆様からということで、御意見をお聞きしましたがけれども、4人の皆様、光村図書が適切ではないかという御意見だったんですけれども、国語につきましては光村図書ということでよろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 ありがとうございます。

では、以上で国語については終了いたします。

次に、書写でございます。書写は5社ございました。

委員の皆様、いかがでしょうか。

比留間職務代理者、お願いします。

○比留間職務代理者 私、やはり国語の中の書写ということで、国語の教科書とあわせて光村図書が良いのかなと思います。今さらなんですけれども、イラストですとか色彩、見やすさといった点では、国語の教科書を含め、東京書籍も良いのかなと思ったんですが、国語というくくりの教科の中になら、書写の教科書が、国語の教科書に比べてサイズが大きいという、ちょっと東京書籍は残念だったかなと思ったところでございます。とても小さいところで恐縮なんですけど、結果としては光村図書が良いのかなと思いました。

○池谷教育長 職務代理者、ありがとうございます。

その他の皆様、いかがでしょうか。

大野委員、お願いいたします。

○大野委員 先ほどはがきや封書の書き方に関して質問をさせていただきましたが、携帯電話がこれだけ普及している中、学校教育の中ではがきや手紙の書き方を身に付けておくこと、大変大事なことだと思っております。そこで、その観点から見たときに、私の中では日本文教出版、それから光村図書、この2つが候補に挙がりました。

日本文教出版につきましては、3年生以上の教科書の巻末のほうに、共通して手紙の書き方が載せてございまして、学年ごとに少しずつグレードアップするような作りがされております。

一方、光村図書なんですけど、手紙の書き方、大変シンプルではあるんですけども、大変分かりやすく作られてございまして、この2社で悩んだところでございまして、私も国語との関連を考慮いたしまして、光村図書を推させていただきます。

○池谷教育長 分かりました。ありがとうございます。

その他、いかがでしょうか、委員の皆様。

潮委員、お願いいたします。

○潮委員 先ほど比留間委員より、教科書のサイズについて、ちょっと大きいのは残念だというお話がございましたけれども、私は逆でして、この大きさが、余白部分なども含めましてとてもいいと感じました。子供たちにとっては、視覚的に入ってくる情報というのが大切だと思います。そんな中で、文字のバランスのとりの表記に関しまして、非常に分かりやすく良いなというように感じまして、私は東京書籍の教科書が良いと感じました。

○池谷教育長 東京書籍ということで、ありがとうございます。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 各社、良いところはあるんですけども、例えば東京書籍と光村図書は朱墨の濃淡などがはっきりしていて、筆運びが見やすくなっていると思います。それから、学校図書や教育出版は、色がはっきりしていて見やすいと思います。光村図書の場合は、書くときの姿勢について、子供にとって分かりやすくまとめられていますし、また先ほど大野委員がおっしゃったように、手紙、はがきの書き方についてということを見ると、各社、工夫はしているんですけども、光村図書の場合は、1字分あけるとか、1、2字分だけあけるとか、書き出しや注意のポイントが大変明確になっていると思います。字体もすっきりしていて見やすいし、そういう点で総合的に見ると光村図書がよろしいのではないかと思います。

○池谷教育長 ありがとうございます。

ということで、今、4人の委員の方に教科書につきましてお話をさせていただきました。

私も、とりあえず総合すると光村図書がいいのではないかなという思いはあるんですけども、先ほど4人の方ですけれども、潮委員からは東京書籍、3名の委員の皆様から光村図書ということになりましたけれども、光村図書の御意見が多いのですけれども、潮委員、いかがでしょうか。

○潮委員 私も今、皆さんの意見を伺いまして、光村図書の教科書を見させていただきまして、結構です。賛同いたします。

○池谷教育長 それでは、書写については光村図書ということによろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 以上で、書写については終了いたします。

次に、社会でございます。社会は3社ございました。

委員の皆様、いかがでしょうか。

大野委員、お願いいたします。

○大野委員 社会では、大変広い分野を学習しますけれども、その中の歴史で使います年表、これについて6年生の教科書を見比べましたところ、日本文教出版のものが目を引きました。通常の年表の中に、自分の年表を作ってみようというコーナーが設けてございまして、自分や家族の歴史も、社会の大きな歴史の一部を構成しているんだということを、意識させるような作りになっているのかなと思ったところでございます。

一方、教科書の作り方として、東京書籍だけが5・6年生の教科書を分冊にしております。1冊、1冊が薄くて使いやすいのではないかなと思っておりまして、今の思いとしては、日本文教出版、東京書籍、どちらも捨てがたいというのが正直なところでございまして、皆さんの御意見も聞いてみたいなと思っております。

○池谷教育長 ありがとうございます。

大野委員から、日本文教出版、そして東京書籍という御意見ございました。

その他ございますでしょうか、委員の皆様。

比留間職務代理人、お願いします。

○比留間職務代理人 3年生の教科書は、武蔵村山市で作りました「私たちの武蔵村山」を中心に学習を進めていると思います。そこで、各社、3年生の教科書では、初めに日本各地の都市が題材となっております、若干、遠くの地域が使われているものが多いのかなと感じ

たところでございます。

そのような中で、5年生の学習で、日本文教出版が国土の環境というところで、狭山丘陵が使われておりまして、郷土に親しみを持つためにも、とても身近な学習になると思いました。

また、先ほどもありましたが、東京書籍の5・6年生の分冊というのは、やはり薄さがよいのかなとも思いました。

○池谷教育長 ありがとうございます。

その他、いかがでしょうか。

杉原委員、お願いします。

○杉原委員 各教科書会社を比べると、それぞれの特長があるんですけども、例えば東京書籍の場合、目次にどちらか1つを選択して学習するというふうに明確に書かれています。学校の先生は専門家ですので、こういうことは明らかなんですけれども、保護者にしてみれば、ここを教えなかったんではないかというような不安があるのではないかと思うんです。そういうときに、保護者や子供にとっても、どちらか1つを学習というふうに明記されているというのは、大変いいように思います。

また、問題解決学習を進めるに当たっても、問題が明確であるということが非常に大事だと思います。そういう点で、東京書籍は問題が明確で、しかも絵や図やグラフや写真、地図などを手がかりにして問題を解決していくという点で、そういうことを通して思考力・判断力を育てることができるというように思います。何を解決すればいいかが明確で、しかも問題の解決のプロセスで、子供たちがいろいろと考えたり、判断したりしていけるという点で、東京書籍がいいかなというように思います。ぜひ、武蔵村山の子供に、社会の事象からいろんなことを、データをもとに考えを深めて、そして判断する力を身に付けてほしいということが理由です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

潮委員、いかがでしょうか。

○潮委員 ただいま杉原委員からも指摘がございましたけれども、絵や図、グラフ、写真、地図などが多いという点で、私も同感いたします。基礎的な知識の定着を考えるための資料がそろっている点なども、東京書籍は良いと思いました。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

今、4人の委員の皆さんから御意見を伺いまして、大野委員からは日本文教出版と東京書籍、比留間職務代理者からも同じように日本文教出版と東京書籍、杉原委員は東京書籍、潮委員は東京書籍ということで、4名の方が東京書籍という御意見を伺ったんですけれども、大野委員、比留間職務代理者につきましては、日本文教出版も挙げていただきますけれども、4名の方の御意見を総合しますと、東京書籍ということになってしまうんですけれども、その形でもよろしいでしょうか。

(「結構です」と呼ぶ者あり)

○池谷教育長 すみません、ありがとうございます。

では、社会につきましては東京書籍ということでお願いいたしたいと思います。

以上で、社会については終了いたします。

次に、地図です。地図につきましては2社ございます。

委員の皆様、御意見等、協議につきましてありますでしょうか。

では、大野委員、お願いします。

○大野委員 2つの地図帳、ともに初めのほうに地図帳の使い方について、説明のページが設けられておりますけれども、帝国書院のものが、より多くのページ数を割いて、丁寧につくられているなという印象を持ちました。私は、その点で帝国書院がよろしいかなと思ったところです。

○池谷教育長 ありがとうございます。

その他、いかがでしょうか。今、大野委員からは帝国書院というお話がございました。

比留間職務代理者、お願いします。

○比留間職務代理者 2つの地図を見比べてみまして、特に関東地方を見比べてみましたところ、どちらもたくさんの地名が並んでおりました。私自身が義務教育を受けていたときには、たしか帝国書院の地図を使っていたと記憶しておりまして、見慣れたところなんでしょうか、帝国書院のほうが見やすいのかなと、ちょっと感じたところがあります。帝国書院が、地図の色分けなど、色使いも良いのかなと。子供たちにとっても見やすいのではないかと、私はよろしいかと思いました。

○池谷教育長 ありがとうございます。

比留間職務代理者からも帝国書院ということですが、その他いかがでしょうか。

潮委員、お願いいたします。

○潮委員 地図は、まず見やすいということが大切だと思っております。比留間委員の御意見

とも似てしまうのかもしれませんが、帝国書院は全体的にすっきりとというか、はっきりとした印象を感じました。ですので、見やすさを重視して帝国書院がいいと思います。

○池谷教育長 ありがとうございます。

潮委員も帝国書院ということですから。

杉原委員、お願いします。

○杉原委員 3点から、帝国書院がいいのではないかと思います。

1点目は、日本全体を大きく描かれているので、位置や広がりが大変分かりやすいと思います。

2点目は、先ほど委員の方々からお話がありましたけれども、東京都が23区のみでなく、多摩地区も全部書かれているということで、武蔵村山市の子供にとってみれば、武蔵村山市を中心に考えながら関連付けて、東京都を見ていく、区を見ていく、市を見ていくということが自然の流れだろうと思います。そういう点で、多摩地区全体が載っている。また、東京都の周りの県も載っているということで、位置関係をつかみやすいという点で分かりやすいと思います。

3点目ですけれども、先ほど大野委員のほうから、地図の約束とか、地図って何だろうというような、いろんな方位とか地図とか記号とか距離の求め方みたいなものが、この地図帳の始めのところに載っているという話がありました。子供が自分で学んでいけるような工夫があるので、帝国書院のほうが楽しく学べるかなというように思いました。

○池谷教育長 ありがとうございます。

それでは、4名の皆様からは帝国書院が適切じゃないかと御意見をいただきました。地図につきましては、帝国書院でよろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 ありがとうございます。

以上で、地図につきましては終了いたします。

ここで暫時休憩いたします。次は、午後1時ごろより再開いたしたいと思います。

午前11時59分休憩

午後 1時00分再開

○池谷教育長 休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第2、議案第44号の議事を継続いたします。

先ほど地図まで終了いたしましたので、次は算数の協議に入りたいと思います。算数は6

社でございます。

委員の皆様、いかがでしょうか。

比留間職務代理人、お願いします。

○**比留間職務代理人** 算数について、私自身もちょっと怪しいところがあるんですが、以前、テレビを見ていて、大人が小学生の算数の問題が解けない。また、私自身、娘であったり、息子の小学校の頃の学習というものを思い起こす中でなんですが、5年生の分数の足し算、引き算というところを見てみました。そこで、教育出版の5年生では、よくある間違いとして、間違いやすい例がしっかりと載っておりました。また、他の教科書も見たのですが、ぱっと見て分かりやすいというのが、この教科書だったのかなと思っております。

○**池谷教育長** ありがとうございます。

その他、委員の皆様、いかがでしょうか。

杉原委員、お願いいたします。

○**杉原委員** 算数の場合、問題解決学習を展開していくそのプロセスで、すごく大切なのは、まず問題を把握できて、そして自力解決に取り組むということ、先ほど委員長の先生がおっしゃっていましたが、そういうことからいうと1時間の授業の中で、問題解決を追求するためには、問題が明確であるということが大事だと思います。そういう点でいえば、問題が非常に明確で、子供たちが何をどのように解決すればいいかが分かりやすいなと思ったのが、教育出版、大日本図書、東京書籍、日本文教出版の4社でした。

自力解決の中では、子供たちが様々な解決をすると思うんですが、子供たちは持っている経験も、それから定着している知識も違います。ですから子供というのは、いきなり演繹的に式からというように考えるのは、なかなか難しいと思います。だから、子供たちには試行錯誤をさせてあげたいし、やはり絵や図とか数直線とか、数の置き換えで、2メートルならば、3メートルならば、3分の1メートルならばというような、様々な考え方で解決できるような、そういう自力解決が大切だと思います。そういう点で、自分なりの考え方として、多様な考え方が載っているのが教育出版だと思います。

また、教育出版の場合は、対称な図形では、整った形の秘密を探ろうとか、比例の場合には、何が変わるとどう変わるというように、日常生活から2つの量に着目をしたりとか、それから日常生活で問題を発見して解決していくとか、そういう日常を数理的に処理していく力が育つように思いました。そういう点で、算数は教育出版が良いのではないかとこのように思いました。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

委員の皆さん、いかがでしょうか。

潮委員、お願いいたします。

○潮委員 私は、東京書籍の教科書は、大きさに工夫がされていると思いました。1年生の1のみ大きくて、1年生の2から小さくなっているという点で、教科書が小さくなったときに、子供は、子供自身が少しお兄さん、お姉さんになったような、そんな気分が味わえるのではないかなという点で良いと思いました。

ですが、内容を含めて見たときに、教育出版社の教科書は大変見やすく感じました。字の大きさですとか、余白の使い方、あとは子供にとって多すぎない情報量、あと教科書として見やすいという点を感じました。

ただいま、杉原委員から内容についての御説明もありましたけれども、そういった点からも総合的に教育出版社の教科書、良いなというように思いました。

○池谷教育長 ありがとうございます。

大野委員、いかがでしょうか。お願いします。

○大野委員 私は、東京書籍の教科書がよろしいのかなと思っております。東京書籍のそれぞれ教科書には、副題のようなものがついておりまして、6年生の場合、「数学へジャンプ！」とありまして、中学校へのつなぎというメッセージが込められておりまして、そのところ大変、私の中では評価したところでございます。また、内容につきましても、補充問題や復習問題、これが充実しておりまして、学力向上に適しているように思ったところでございまして、以上のことから、私としては東京書籍を推させていただきます。

○池谷教育長 どうもありがとうございました。

4人の委員の皆様から、今御意見を伺いまして、幾つかの教科書会社が出されましたので、ちょっと改めてここで確認させていただきたいと思います。

比留間職務代理者は、教育出版でよろしいでしょうか。杉原委員は、幾つかの教科書を上げていただきましたが、総合的には教育出版ということで、よろしいでしょうか。続きまして、潮委員ですけれども、東京書籍と教育出版でしたが、総合的には教育出版ということで。そして、大野委員は東京書籍ということで、よろしいでしょうか。

そして、総合しますと、教育出版が3名の方から出されておりまして、教育出版を上げていらっしやらないのは大野委員だけですけれども、東京書籍ということですから、大野

委員、これについていかがでしょうか。教育出版でもよろしいでしょうか。

○大野委員 皆さんが教育出版という中で、あえて最後に東京書籍を、出させていただいたところでございます。私なりに考えた結果ですけれども、意見の表明だけさせていただいたということで、教育出版で結構でございます。

○池谷教育長 ありがとうございます。

では、算数については教育出版が適切ではないかという御意見が出されたということで、よろしく願いいたします。

ありがとうございました。

以上で、算数については終了いたします。

続きまして、理科です。理科は5社ございました。

委員の皆様、いかがでしょうか、理科について御意見等ございますでしょうか。

潮委員、お願いいたします。

○潮委員 まず、東京書籍の3年生の73ページに、植物の観察に関して出ておりました。その中で、記録の提示といいましょうか、掲示がしっかり見える大きさと、たくさん出ておりました。3年生というのは、初めて理科の教科が入ってきまして、何をどのようにしたらいいのかというところ、分からない部分があるかと思います。導入として、具体的に分かることというのは、大切だと思い、私は子供たちにとって東京書籍の教科書が良いのではないかと思います。

○池谷教育長 どうもありがとうございました。東京書籍ということですね。

いかがでしょうか、委員の皆様。

大野委員、お願いいたします。

○大野委員 学習指導要領を見ますと、災害に関する基礎的な理解が図られるようにすると明記されております。東京書籍、6年生の教科書の121ページから始まります「変わり続ける大地」のところを見ますと、地震による大地の変化、火山の噴火による大地の変化など、多くの写真を使いまして非常に分かりやすく説明されていると感じたところございまして、私としては東京書籍を推させていただきます。

○池谷教育長 ありがとうございます。東京書籍ということで、よろしく願いします。

その他、いかがでしょうか。

比留間職務代理者、お願いします。

○比留間職務代理者 今、潮委員と大野委員から、東京書籍というお話もありましたが、私は

大日本図書の教科書が良いかなと思えました。いろいろ見比べた中でなんですが、まず教科書の初めの方にある理科の学び方というのが、とても分かりやすいなと思えました。次に、新しく勉強を始める、勉強する初めのページに、これまで勉強していたことが簡単にまとまっていたり、何を学んだか思い出すのにとっても良いのかなと。また、それぞれの学習の中で問題が書かれておりますが、その問題も子供目線で考えているのかと感じました。

○池谷教育長 ありがとうございます。

比留間職務代理は、大日本図書ということですが。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 理科的な見方、考え方の問題を、科学的に解決する力を育成という視点で、各教科書を比べてみて、解決しなければならない問題が明確なことが大事だと思います。その点で、大日本図書というのは、生き物は色や形、大きさなど姿に違いがあるでしょうかとか、問題の視点が大変明確だと思っています。そういう点でいえば、大日本図書は非常にいいかなというように思います。

また、月の形の見え方や太陽の位置関係について学ぶという分野では、子供の視点に立って問題を捉えやすく、考えを深めるプロセスが自然なのは大日本図書と東京書籍だと思いました。どちらがどうということはありませんが、大日本図書と東京書籍はいいと思います。皆さんの意見等を鑑みて、どちらかがいいかなというように思います。

○池谷教育長 ありがとうございます。

4名の委員の皆さんから今、御意見を伺いました。

ここで確認させていただきたいんですけれども、まず大野委員と潮委員は東京書籍ということでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○池谷教育長 それで、比留間職務代理は大日本図書ということで、杉原委員からは大日本図書と東京書籍。総合的には、大日本図書の方がよろしいですか。

○杉原委員 そうですね。

○池谷教育長 そういたしますと、東京書籍が2名、大日本図書が2名ということで採決しなくてはならないんですけれども、今のことについて何か御意見とかございませんでしょうか。なければ、ここで私の方で意見を言わせてもらってよろしいでしょうか。

この2社を比べた場合、私は東京書籍が良いのではないかなと考えております。なぜかという、その内容もそうなんですけれども、ここに教科書があるものですから、ちょっと示

させていただきたいんですけれども。

先ほど潮委員からもお話があったんですけれども、3年生から理科が始まるわけですよ。生活科で、いきなり3年生になって理科はというようになるので、この東京書籍の表紙には、さりげなく、ここで3年生のときは見つけたいとかってなっているんですね。そして、4年生は、この下のところで確かめたいとか、こういう表示というか、表現がされていまして、5年生は詳しく調べたいと。それで、この担任、授業者の立場から言うと、この表紙を使いながら、3年生は見つけたいという勉強をしていくんだ、発見をする授業なんだよということをお子に伝えることができるかなと思うんですね。それで、4年生は確かめたい、4年生から実験が少し始まるじゃないですか。そういう面では、私は5年生の詳しく調べたいとかあるんですけれども、こういうところから、この2社を比べた場合、東京書籍が自分にとっては授業者としてもいいのかなというように考え、自分の意見を言わせていただきました。

そうなりますと、東京書籍が3人、大日本図書が2人ということなんですけれども、いかがでしょうか。3対2という、こういう表現ではいけないのかもしれないんですけれども、東京書籍という形でさせていただくことについては、比留間職務代理者、杉原委員、いかがでしょうか。

(「結構です」と呼ぶ者あり)

○池谷教育長 申し訳ございませんけれども、理科につきましては東京書籍ということにさせていただきたいと思います。

以上で、理科については終了いたします。ありがとうございました。

続きまして、生活です。生活は7社でございます。

委員の皆様、いかがでしょうか。

大野委員、お願いいたします。

○大野委員 先ほど子供の安全確保ということにつきまして、質問をさせていただいたんですが、日本文教出版の教科書、これは地域防災の視点が活かされた作りになっておりまして、好感を持ったしだいでございます。

また、もう一つ、大日本図書の自分の安全は自分で守ろうでは、いろいろな場面を想定しまして、学習できるようになっております。

この2つ、悩んだんですが、1つに絞るということだと、総合的なところで大日本図書を推したいと思います。

○池谷教育長 ありがとうございます。大日本図書ですね。

他にいかがでしょうか、委員の皆様。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 どの教科書も、それぞれの工夫がありますけれども、例えば花と野菜で見ると、種、芽、つぼみ、花など、ページを追ったり、ずらしたりして、その成長を比較しやすいようになっていました。そうなっているのが、学校図書、啓林館、大日本図書、東京書籍、日本文教出版でした。そういう点で、やはり子供たちがいろいろと比較できるような、その成長の過程を見られるという点では優れていると思います。

また、子供の活動を引き出す、子供の目線に立った問題があって、学習のめあてが捉えやすくなっているということを考えると、先ほど大野委員のおっしゃった大日本図書がいいのではないかと思います。また、例えば工夫として、秋の色ってどんな色、においては、音はどのように、モノクロの写真があって、その後、カラー写真で出てきている。変化の工夫が非常に捉えやすいですし、子供の感性や感覚を大事にしながら深めていくというような点でも、大日本図書はよく工夫しているなと思いました。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

その他、いかがでしょうか。

潮委員、お願いいたします。

○潮委員 私としましては、低学年だからこそその発見につながる気付きというのが大切だと考えております。そういう意味で、先ほど杉原委員からもありましたけれども、子供の目線に立って考えられる教科書というところで、大日本図書がいいなというように思います。

○池谷教育長 ありがとうございます。

比留間職務代理者、よろしく申し上げます。

○比留間職務代理者 私も大日本図書が良いと思います。観察の記録の書き方ですとか、生き物の飼い方など、詳しく書かれているように感じました。杉原委員と潮委員の言われたように、子供の視点から、子供たちが自分で考えて学習できるような教科書になっているのかなと感じたところです。

○池谷教育長 ありがとうございます。

それぞれ今、御意見ありがとうございました。4名の皆さんからは、大日本図書が適切ではないかと意見をいただきました。この大日本図書でよろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 ありがとうございます。

以上で生活について終了いたします。

次に、音楽にいきたいと思います。音楽は2社でございます。

委員の皆様、いかがでしょうか。

潮委員、お願いいたします。

○潮委員 どちらの教科書も、それぞれ良さがあると感じました。教育出版社は、1年生から英語の歌唱教材がある点、またとても楽しく面白い楽曲を使っている点など良いと思いました。

教育芸術社の教科書は、英語の歌唱教材としては、3年生から導入されていましたが、鑑賞教材を見ますと1年生から様々な国の楽曲を使用しており、グローバルな視点から見ても、とても良いと思いました。また、合奏を見たときに、多数の楽器を取り入れている点で、子供たちが直接手にして演奏する楽しみとかを味わえるという点で、とても面白くて良いのではないかなと思いました。

どちらも良い点あるんですけれども、どちらかということで、私は教育芸術社の教科書が良いと思います。

○池谷教育長 教育芸術社、ありがとうございます。

その他、いかがでしょうか、委員の皆様。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 私も潮委員と同じように、教育芸術社が良いのではないかと思います。教育芸術社は、まず目次の学習のめあてがとても分かりやすいと思います。各学年の学習に、歌う、演奏する、聞く、つくるという視点から、めあてが大変捉えやすくまとめられています。

それぞれの題材でもめあては書いてあるんですが、例えば越天楽今様ですと、越天楽今様は、日本に古くから伝わる音楽に親しみましようとなっています。「ふるさと」という歌は、人々が大切にしてきた歌を味わい、思いが伝わるように歌いましようというように、大変めあてが子供にとっても分かりやすくなっています。先ほど音楽の委員長先生の方から、音楽は高学年は専科の先生だけれども、他の低学年とか中学年は、学級担任が教えるようになっているといわれました。そういう点で、やはりめあては分かりやすく、そして捉えやすい方が良いと思います。そういう点でも、教育芸術社の方が良いのではないかというように感じました。

○池谷教育長 ありがとうございます。

その他、委員の皆さん、いかがでしょうか。

比留間職務代理者、お願いします。

○**比留間職務代理者** まず教育出版の方なのですが、専門的な曲を選んでいるように思いました。その一方で、教育芸術社の方は、親しみを感じられる曲が多いのかなど。また、先ほど杉原委員のおっしゃいましたとおり、学習のめあてというところで、子供たちにも分かりやすいという部分で、どちらの教科書が子供たちにとってより良いものか、非常に私自身、迷っているところなんですけれども、3年生の音の長さや音の高さを学習する部分でなんですが、OHPシートを使って、それを確認できるなど、教育出版の方は何か工夫されているのかなと感じたところでございます。

○**池谷教育長** ありがとうございます。教育出版ですね。

大野委員、いかがでしょうか。

○**大野委員** 学習指導要領では、君が代について、いずれの学年においても歌えるよう指導することとされております。そのことから、教育出版、教育芸術社ともに1年生から6年生までの教科書全てに君が代が掲載されておるんですが、ただ両者を比較したときに、その掲載場所なんですけど、教育芸術社の方、1年生から6年生まで全て、裏表紙をめくった一番後ろの見開きのページ、そちらに載せられておりまして、大変使いやすさに配慮されているなど感じたところでございます。そのようなことから、私としては教育芸術社を推したいと思えます。

○**池谷教育長** ありがとうございます。4名の委員の皆さんから、お話いただきましたけれども、3名の委員の方、潮委員、杉原委員、大野委員は教育芸術社を推し、比留間職務代理者につきましては教育出版ということで、お一人なんですけれども、人数的には教育芸術社という形になるんですけれども、いかがでしょうか。比留間職務代理者。

○**比留間職務代理者** 私も非常に迷った中での教育出版という意見でございます。教育芸術社で結構です。

○**池谷教育長** ありがとうございます。

それでは、音楽につきましては教育芸術社が適切でないかという御意見が出されましたので、教育芸術社に決めたいと思います。

以上で、音楽については終了いたします。ありがとうございました。

次に、図画工作です。図画工作につきましても、2社でございます。

何か委員の皆様、御意見等ございますでしょうか。

杉原委員、お願いします。

○杉原委員 日文ですけれども、子供の作品が大変多く取り上げられている良さはあると思います。けれども、3つの点から開隆堂の方がいいかなというように思いました。

1点は、目次がすっきりしていて分かりやすく、イメージを捉えやすいということがあると思います。

2点目は、「心をひらいて」というところで、風神雷神の絵があるんですけども、日本の芸術に触れた工夫が大変印象的で、感動的で、そしてやはり表現者の視点の大切さを感じられるというような点で、子供たちが、芸術に親しむ、鑑賞の楽しさを味わえるという点でもいいのではないかと思います。

3点目は、みんなでたのしく、「はい、ポーズ」という題材があるんですけども、ねじったり、ひねったりして、動きのあるポーズを工夫しましょうというように、学びのめあてが非常に捉えやすい。他の題材の方も、やはり学習のめあてが非常に分かりやすいように示されていて、子供が捉えやすいし、それから創作への意欲とイメージが湧きやすいと思えました。

そういう点で、視点が広いというか、広がりがある開隆堂が良いんじゃないかなというように思いました。

○池谷教育長 ありがとうございます。杉原委員から開隆堂という御意見がございました。

他の委員、いかがでしょうか。

大野委員、お願いいたします。

○大野委員 私も杉原委員に同感でございます。開隆堂の方を見ますと、各単元のところに「学習のめあて」という欄が設けられておりますけれども、子供たちにとってしっかりと目的を持って、学びやすいのではないかなと思ったしだいでございます。開隆堂、よろしいかと思えます。

○池谷教育長 ありがとうございます。

杉原委員、大野委員から開隆堂という思いが出されました。

比留間職務代理者、お願いします。

○比留間職務代理者 私もやはり開隆堂がよろしいかと思えます。開隆堂の方が、使う道具や後片付けの仕方など、とても分かりやすく示されていると。また、巻末の資料なども充実しております、2社の中ではどちらかというとな開隆堂の方がよろしいかなと思えました。

○池谷教育長 ありがとうございます。

ということですが、今の3名の御意見というのは、潮委員いかがでしょうか。

○潮委員 私も同じく開隆堂がいいと思っております。作品を作るに当たり、教科書に見本が多いと子供の想像力、発想が縛られてしまったり、ある程度、その見本に流されてしまったりということがあるのではないかなと思います。2つの教科書を見比べてみたときに、子供の意欲を高めながら作品をつくり出すという喜びを味わうという点から考えると、開隆堂がいいと思います。

○池谷教育長 ありがとうございます。

4名の皆様からは、開隆堂が良いのではないかというお話をいただきましたので、図画工作につきましては、開隆堂ということで判断させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 どうもありがとうございます。

では、以上で図画工作については終了いたします。

次に、家庭です。家庭は2社でございます。

委員の皆様、それぞれいかがでしょうか。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 2社とも家庭生活や食事、調理、衣服や住まい、消費生活や環境などについてバランスよく構成されていて、両方とも問題解決学習の進め方になっていると思えました。

私は、この2社を比べたとき、それぞれの工夫はあるんですけども、東京書籍がいいかなと思えました。

3点、述べさせていただきます。

1点目は、「お茶を入れてみよう」というところで、分かりやすく片付けまで表現されています。それから、それだけでなく、お茶の種類も記載されていて、せん茶、番茶、玄米茶、ほうじ茶、玉露、抹茶など、日常生活で子供たちが触れているお茶は、入れるときの温度が違うなど、科学的な見方が育つのではないかと思えました。

2点目は、青菜のおひたしとゆでいもを上下並行して手順を示されていたので、双方のどこが違うかということと比較しやすい良さがあるというように思いました。

3点目ですが、J I Sマークによる取扱いの表示の例が載っているんですけども、東京書籍の場合は、2016年11月30日までと2016年12月1日からというように、実際に即して大変詳しく述べられています。子供たちは自分の服と表示が違うと、学べないということが

あるので、やはりこれは実際に即した方がいいと思います。そういう点で、服に表示されていて、見て理解できるという点からも、詳しく J I S マークの取扱いを表示している東京書籍のほうが、問題解決力が育つかなというように思います。

そのようなわけで、東京書籍がよろしいのではないかと思います。

○池谷教育長 ありがとうございます。

その他の委員の皆さん。

比留間職務代理人、お願いします。

○比留間職務代理人 私も東京書籍がよろしいかと思います。東京書籍では、各単元の導入において、生活の場面を思い起こさせるような工夫がありまして、先生方にとっても、先ほど杉原委員もおっしゃられた問題解決的な学習展開ができるのかなと思われます。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

杉原委員、比留間委員から東京書籍という御意見が出されました。

その他、委員の皆さん、いかがでしょうか。

潮委員、お願いいたします。

○潮委員 私も同じく東京書籍がいいと思います。1つ挙げますと、糸、針の使い方について、東京書籍のほうが、26 ページから 29 ページにわたって、開隆堂の方でもあるんですが、24、25 ページに掲載されておりました。子供たちが見たときに、どこから針を入れて、どのように進めていくかという点で、それぞれイラストと写真とで出ておりました。東京書籍と比べたときに、やはり東京書籍の写真が、子供たちにとっては非常に分かりやすくつくられていると思ひまして、東京書籍が良いと思います。

○池谷教育長 ありがとうございます。

今3名の方、委員からは東京書籍ということですが、大野委員はいかがでしょう。

○大野委員 私も皆さんと同様、東京書籍、よろしいかなと思っております。東京書籍、いろんな單元の中にコラムが入れ込んでございまして、例えば 23 ページ、いただきます、ごちそうさまでは、作ってくれた人への感謝の念を持とう。それから、63 ページの日本手ぬぐいでは、タオルとは違った使い方の紹介。それから、91 ページの衣替えでは、昔から行われてきた季節に合わせた衣類の着用などについて、簡潔な説明がなされておひまして、非常に気のきいた作りになっているなという感想を持ちました。そのようなことから、東京書籍、よろしいかと思います。

○池谷教育長 ありがとうございます。

4名の皆様から、東京書籍ということで御意見が出されましたので、家庭については東京書籍が適切でないかと考えます。よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○池谷教育長 ありがとうございました。

以上で、家庭については終了いたします。

続きまして、保健です。保健は5社でございます。

委員の皆様、いかがでしょうか。

比留間職務代理人、お願いします。

○比留間職務代理人 各社とも科学的な説明ですとか、根拠といったものを、写真やイラスト、あとデータなどで工夫しながら表現していると思いました。質問の中でも言ったんですが、学習時間が少ないということで、限られた時間の中でいかに指導がしやすいかというもの、一つの視点になってくると考えております。そういう中では、学研が、その時間に学ぶことがしっかり提示されておりました、良いのかなと思いました。

あと、光文書院についてなんですが、専門用語の解説が別枠で記載されていたりと、そういった工夫も非常に良いのかなと思いました。

○池谷教育長 潮委員、お願いいたします。

○潮委員 ただいま比留間委員からもありましたけれども、私も限られた時間の中で指導がしやすいかということが、1つ視点になってくると思います。その点においては同感でして、特に先生方に負担が少ないこと、また子供にとっては書き込める工夫がされているというのが良いかと思えます。その点でいうと、東京書籍、光文書院は書き込む部分が大きく、使いやすいのではないかなと思いました。

大日本図書には、各単元に、「わたしたちはどこかな？」というものがあまして、どこで何を注意すればよいのかということ、後から学べるような形になっておりました。楽しみながら学習を進められるという部分が、とても良いと感じました。

それぞれ良い部分がありますけれども、総合的に見たときに、言葉の使い方というのがとても分かりやすく、子供たちの学習が進めやすいという点で、光文書院が良いかなと思います。

○池谷教育長 ありがとうございます。光文書院ですね。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 私も比較しまして、例えば交通事故防止では、事故の原因とか、それから危険の予測と回避など、問題を解決するに当たってグラフとか絵とか写真とか、標識などのデータを基に解決するようになっていて、思考力・判断力の育成という視点から見ると、東京書籍は良いかなというように思いました。

先ほど皆さんがおっしゃっている光文書院ですけれども、光文書院は、心の健康について「4コマまんが」の導入がとても良くできていると思います。そして、始めに「調べよう」「考えよう」「話し合おう」と、自然の流れで深まるようになっていていると思います。心の成り立ちは、感情、社会性、思考力の分類も大変分かりやすく、変化を肯定的に捉えられるような工夫があるなというように思います。

そうした点で見ると、東京書籍と光文書院が児童にとっては考えやすい工夫がされているなと思いました。

○池谷教育長 ありがとうございます。

比留間委員、潮委員が出ましたけれども、大野委員はいかがでしょうか。

○大野委員 光文書院の教科書なんですけど、巻頭にオリンピック・パラリンピックの選手などのコメントが載っております。3食きちんと食べることや、健康管理の大切さなど、それらテレビで見る有名選手から発せられる言葉というのは、子供たちに強く響くのではないのかなと思ったところでして、私としては光文書院を推したいと思います。

○池谷教育長 委員の皆さん、ありがとうございます。今、御意見をお聞きしますと、比留間職務代理者が学研と光文書院、潮委員につきましては東京書籍、大日本図書、光文書院を挙げていただきましたけれども、総合的には光文書院ということでもよろしいでしょうか。杉原委員が東京書籍と光文書院。そして、大野委員が光文書院ということで、現在ここで4社を挙げていただきましたけれども、皆様から共通して、光文書院が出ておりますので、保健につきましては光文書院ということでもよろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 ありがとうございます。保健については光文書院ということで。

以上で保健については終了いたします。

次に、英語でございます。英語につきましては7社でございます。

委員の皆様、いかがでしょうか。

比留間職務代理者、お願いします。

○比留間職務代理者 英語は、初めての採択替えということもありまして、資料作成委員会の

皆様も御苦労が多かったのかなと思います。実際には、内容が簡潔で分かりやすいもの、先生方が教えやすいものが良いのかなと思っているところなんです、私は東京書籍が分かりやすいのかなと思いました。巻末のコミュニケーションカードも、子供たちが楽しみながら英語に取り組むような工夫なのかなと思いました。東京書籍が良いかと思います。

○池谷教育長 ありがとうございます。

比留間職務代理者からは、東京書籍という御意見を伺いました。

大野委員、お願いいたします。

○大野委員 先ほど質問もさせていただいたんですが、私としては東京書籍のみ別冊の Dictionary、これをつけていることについて、その点を評価したいなと考えております。巻末など、教科書の一部に掲載するよりも、使い勝手が良いのではないかなとも思いますし、コンパクトにつくられた別冊だけを使って、友達同士、クイズ形式で学ぶこともできるのではないかなとも思いました、そのようなことから東京書籍、よろしいかと思います。

○池谷教育長 ありがとうございます。

比留間職務代理者、東京書籍、大野委員からも東京書籍という御意見が出されました。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 各社、QRコードがついているんですけども、これは大変良いと思います。というのは、英語というのは、日本人にとってふだんなかなか慣れ親しむことのできない環境にありますので、音声を個人で聞いて、ヒアリングやリーディングができるというのは、大変良いかなというように思います。

そういう点で、各社を再生してみました。まだ準備中とか、再生できないところもありましたけれども、大変再生しやすく、ページごとに音楽のバックミュージックが流れて、発音しやすかったり、それから動画や文字が出てきたりというような、いろんな工夫がありました。そのような点で、大変聞きやすいと思ったのは、開隆堂、学校図書、東京書籍、それから啓林館でした。

その4つを比べてみますと、開隆堂は楽しみながら、自ら学べる工夫ができていなというように思いました。提案、いろんなものが豊富で練習がたくさんできる。

学校図書の場合は、クラスルームイングリッシュが大変分かりやすくいいと思いました。これは繰り返し使えますし、大変実践的だと思いました。確かに疑問詞の多い文が多くて、少しレベルが高いようにも思うんですが、学習指導要領では教えるようになっているという点でいえば、日常会話で使う実践的な英語だなと思いました。武蔵村山の子供が、どのくら

い英語活動に触れてきたか、英語が好きかということによって、また変わってくると思うんですが、結構長くからたくさんの時間数で学んできたということで、学校図書が良いかなと思いました。

それから、啓林館は、やはり自分の発音を、相手の言っていることを聞きながら、小さな音に合わせ、音楽のリズムにのって話していけるという点で良いと思います。

東京書籍も、文字が出てきて、再生の仕方も非常に分かりやすいですし、聞きたくなる工夫がありました。リズムにのって速く言う英語というのは、日本人は、なかなか難しいんですけども、それが音声とともに使いやすくなっていると思います。別冊があるという良さもあると思いました。

それぞれ本当によく工夫してあるんですけども、総合的に見たら、やはり東京書籍が良いかなというように思いました。

○池谷教育長 杉原委員は、何社か挙げていただきましたけれども、総合的には東京書籍ということで、ありがとうございます。

潮委員、いかがでしょうか。

○潮委員 私は、学校図書ですが、こちらはプレッスンとして、前の学年までの復習というのがほどよく扱われているところが、とても良いなと思いました。

また、啓林館と開隆堂には、物語として「大きなかぶ」、教育出版では「手紙」が出てきていました。子供たちは、1・2年生のときに国語の学習で扱ったものなので、英語の教科書に出てくるという点で、子供たちの興味というのは高まるのではないかなと考えました。巻末の内容なども含めまして、私としましては啓林館か開隆堂が良いと思っております。

○池谷教育長 ありがとうございます。

今、4名の委員の皆さんからの御意見を伺いまして、3名の委員の方は一応、東京書籍、そして潮委員からは、啓林館と開隆堂ということですがけれども、こういう形で3人の委員の方が東京書籍、潮委員だけが東京書籍ではないという御意見なんですけれども、どうでしょうか、潮委員、東京書籍、人数、数字で言ってしまうと申し訳ないんですけども、東京書籍について何かございますか。

○潮委員 私としましては、今、述べたとおりで啓林館か開隆堂を推したいところですが、今、皆さんの意見を聞きまして、教科書をめくってみたんですけども、そうですね、まず比留間職務代理者の先生が教えやすいという点も含めたり、別冊の Dictionary のことだったり、杉原委員からのリズムにのった英語という点だったりということも含めて、同意いたします。

○池谷教育長 ありがとうございます。

ということで、英語につきましては東京書籍が適切でないかという御意見が多く出されましたので、東京書籍ということにしたいと思います。ありがとうございました。

では、以上で英語については終了いたします。

次に、道徳でございます。道徳は8社でございます。

道徳につきましては、皆さん、いかがでしょうか。

では杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 学校図書ですけれども、情報モラルとか、それから「言葉のおくりもの」という題材で、何気ない日常で起こりそうな出来事などが取扱われていて、題材はなかなかいいものがそろっていると思いました。

光村図書の場合は、すれ違いとか、「6年生の責任って？」など、多面的・多角的な見方ができる題材で、子供たちが安心して話し合いができて、お互いに深められるかなということで、非常に良い教科書だなというように思いました。

学図と光村なんですけど、総合的に見れば光村図書が良いかなというように思いました。

○池谷教育長 光村図書ということで、ありがとうございます。

大野委員、お願いいたします。

○大野委員 私も光村図書がよろしいかなと思っておりまして、光村図書の6年生の教科書、86ページから91ページにかけまして、「大切な権利」という項目を立てて、「世界人権宣言から学ぼう」という単元がございます。全30条について、分かりやすい言葉で説明されておりまして、何よりもそれが生まれた歴史的経緯などから、人権の大切さを学ぶような、そういうつくりになっております。他社の中にも、資料として巻末などに条文を掲載しているところもあるんですけれども、私としては本文の中に条文を掲載していることを評価いたしまして、光村図書がよろしいかなと思います。

○池谷教育長 光村図書ということで、ありがとうございます。

比留間職務代理者、お願いします。

○比留間職務代理者 昨年度の中学校の道徳なんですけれども、光村図書が採択されたわけですが、私自身、非常に良い教科書が採択されたと思っております。本市では、小中一貫教育というものを行っておりまして、そういう視点からも小・中学校で一貫した教材を使用するというのも大事なかなと思っております。たしか昨年度、採択のとき、教育長がおっしゃられたかと思うんですけれども、「泣いた赤おに」という題材ですね、小学校でも、中学校でも使

用できる題材だとお話いただいてたと記憶しているんですが、小学校のときに読んで感じたことを、中学生に成長した自分がもう一度同じ物語を読んでどう感じるかとか、そういった部分での小中一貫の教育というのを進めていくところで、光村図書がいいのかなと思っております。

○池谷教育長 ありがとうございます。

潮委員、いかがですか。

○潮委員 私は、学校図書か光文書院が良いかなと思いました。学校図書は、黒人や盲目の人、また障害のある人などを扱った題材がありまして、そのあたりとても良いなと感じました。

光文書院は、子供たちが多様な考え方に触れるための道徳にするために、低学年の挨拶というところから始まって、高学年のおじぎの仕方ということが載っておりまして、ちょっとこれに関しては賛否あるかもしれませんが、日本人の心、また和の心という部分で、光文書院は良いかなと感じました。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

複数の教科書を挙げられまして、確認をしたいと思います。

杉原委員は、学校図書と光村図書を挙げていただきまして、大野委員は、光村図書。比留間職務代理者も光村図書。潮委員につきましては、学校図書と光文書院ということですが、3名の委員の方々からは光村図書が適切じゃないかという御意見が出されました。また、潮委員につきましては、光村図書を挙げていただけておりませんが、これにつきまして潮委員、どうでしょうか。

○潮委員 結構です。

○池谷教育長 よろしいでしょうか。

○潮委員 先ほど比留間委員もおっしゃってございましたけれども、比留間委員がおっしゃったとおり小中一貫のという意味でも、同じということで良いのかなと思いますので、結構です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

ということで、一応、3名の委員の方から、光村図書が適切じゃないかということでいただきましたので、道徳につきましては光村図書が適切でということで、考えさせていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

以上で、道徳については終了いたします。大変ありがとうございました。

以上で、国語から道徳までの13の種目について、委員の皆様の御意見を伺いました。今い

いただきました御意見に従い、これから議案別紙を作成いたします。

ここから 15 分間の休憩をいただきまして、午後 2 時 10 分頃から会議を再開させたいと思います。よろしいでしょうか。

午後 2 時 10 分頃に会議の方は再開いたしますので、よろしくお願いいたします。

午後 1 時 5 3 分休憩

午後 2 時 1 3 分再開

○池谷教育長 休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第 2、議案第 44 号の議事を継続いたします。

教育総務課長より、議案別紙を朗読いたさせます。

井上教育総務課長、お願いします。

○井上教育総務課長 それでは、議案別紙を朗読させていただきます。

別紙、選定図書、武蔵村山市立小学校令和 2 年度使用教科用図書。

種目、発行者、書名の順で朗読いたします。

国語、光村図書、「国語」。

書写、光村図書、「書写」。

社会、東京書籍、「新しい社会」。

地図、帝国書院、「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」。

算数、教育出版、「小学算数」。

理科、東京書籍、「新しい理科」。

生活、大日本図書、「たのしい せいかつ」。

音楽、教育芸術社、「小学生の音楽」。

図画工作、開隆堂、「図画工作」。

家庭、東京書籍、「新しい家庭」。

体育（保健）、光文書院、「小学保健」。

英語、東京書籍、「NEW HORIZON Elementary」。

道徳、光村図書、「道徳 きみがいちばんひかるとき」。

以上でございます。

○池谷教育長 これより質疑に入ります。

皆様、いかがでしょうか。特にはよろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○池谷教育長 質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。

(発言する者なし)

○池谷教育長 討論なしと認めます。

これをもって討論を終わります。

これより、議案第 44 号 武蔵村山市立小学校令和 2 年度使用教科用図書の採択についてを採決いたします。

武蔵村山市立小学校令和 2 年度使用教科用図書については、別紙のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○池谷教育長 挙手全員であります。

よって、武蔵村山市立小学校令和 2 年度使用教科用図書については、別紙のとおり決しました。

ありがとうございました。

◎日程第 3 議案第 4 5 号 武蔵村山市立中学校令和 2 年度使用教科用図書の採択
について

○池谷教育長 日程第 3、議案第 45 号 武蔵村山市立中学校令和 2 年度使用教科用図書の採択についてを議題といたします。

教育総務課長より議案の朗読をいたさせます。

井上教育総務課長、お願いします。

○井上教育総務課長 それでは、議案を朗読いたします。

議案第 45 号 武蔵村山市立中学校令和 2 年度使用教科用図書の採択について。

武蔵村山市立中学校令和 2 年度使用教科用図書を別紙のとおり採択するため、教育委員会の議決を求めます。

令和元年 8 月 9 日、武蔵村山市教育委員会教育長。

別紙については、協議終了後に作成し、配付いたします。

以上でございます。

○池谷教育長 ありがとうございました。

それでは、議案第 45 号の提案理由を説明させていただきます。

義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第 13 条の規定により、中学校令和 2 年度使用教科用図書を採択する必要がありますので、本案を提出するものでございます。

なお、内容につきましては、指導担当参事から説明いたさせますので、よろしく御審議の上、御決定くださいますようお願いいたします。

勝山指導担当参事、お願いします。

○**勝山指導担当参事** まずは先ほどの議案第 44 号でも御説明いたしました、教科書採択に当たり、教育委員会に寄せられました要望・意見等についてでございます。

今回の教科用図書採択について、何らかの要請等は、団体から 5 件、そのうち中学校用教科用図書の採択に係る要請等が 2 件ございましたので、御報告いたします。

1 件目は、武蔵村山子どもの教育と文化を育てる会から、中学社会科教科書採択についての要請として文書が来ております。

こちらにつきましては、4 月に開催いたしました平成 31 年第 4 回教育委員会定例会にて、全ての項目について御説明をいたしましたので、詳細の御説明は省略いたします。

要約いたしますと、社会科の歴史的分野と公民的分野の教科書については、今年度、改めて調査検討を行い、採択のし直しをしていただきたいとの要請でございます。

2 件目は、自由法曹団東京支部から、中学校歴史・公民教科書採択についてとして文書が来ております。

こちらは、7 月 11 日付で文書を収受し、教育委員の皆様にも、その写しをお渡ししているものでございます。また、本日も改めてお配りをさせていただきました。

内容は、前回の中学校教科書採択において、育鵬社の歴史・公民教科書を採択した都内の自治体に対し、育鵬社版の歴史・公民教科書を採択されないよう強く要請するとのことで、中学校歴史・公民教科書採択についての要請書に合わせて、4 年前の日付の武蔵村山市教育委員会が育鵬社版歴史・公民教科書を採択したことに抗議し、採択のやり直しを求めるとの文書及び弁護士から見た育鵬社の公民・歴史教科書の問題点との文書を受けております。

1 件目、2 件目の要請・要望ですが、いずれも 4 年前に本市で採択した特定の教科書会社が作成した教科書のみに対して、採択をしないよう求めているものでございます。その根拠につきましては、両団体の皆様のお考えによるものと存じますが、少なくとも本市でこれまで使用してきた全ての教科の教科書、そして本日、御採択いただく教科書につきましては、いずれも国の検定を経たものであり、内容に問題はないものと考えてございます。つきまし

では、4月の定例教育委員会で議決をいただきました武蔵村山市立学校令和2年度使用教科用図書採択要領に基づき、公正公平な採択を適切に実施していく上で特段の課題はございません。

それでは、議案第45号、資料2、中学校教科書採択資料作成委員会報告書を御覧ください。

本報告書は、平成28年度使用中学校教科用図書採択のための教科書採択資料作成委員会により作成され、平成27年8月7日に開催された平成27年第2回教育委員会臨時会において、同委員会の尾崎光治委員長より報告されたものと同じ内容のものでございます。

本年4月の第4回教育委員会定例会において決定された武蔵村山市立学校令和2年度使用教科用図書採択要領に基づきまして、本報告書を基に、中学校令和2年度使用教科用図書について、御審議の上、採択を賜りたくお願いいたします。

それでは、本報告書の内容について、国語から順次説明させていただきます。

なお、出版社名につきましては略称にて申し上げます。

まず国語につきましては、出版社は5社でございます。

初めは、東書の「新編 新しい国語」です。

特長は、「話す・聞く」「書く」「読む」それぞれの学習教材で身に付けたい知識・技能のポイントが、「言葉の力」として明確に示されていることです。本編・基礎編・資料編の3部からなっています。巻頭カラーの見開きページに、「これから1年間で学ぶこと」という項目があります。

次に、学図の「中学校 国語」です。

特長は、丁寧かつ適切な「てびき」や活動指示によって、自学自習を支える内容になっていることです。学習の目標と過程が明確で、生徒が見通しを持って主体的に学ぶことができます。各単元に「発見する読み」という教材があり、読む力を高めるために配慮がなされています。

次に、三省堂の「現代の国語」です。

特長は、教材の冒頭に「つけたい力」が明確に示されている点です。生徒たちに力をつける方略が3学年で系統的に図解で示されています。教材の冒頭に「つけたい力」として学習目標を提示し、教材の最後には学習を振り返る機会が設けられています。

次に、教出の「伝え合う言葉 中学国語」です。

特長は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3つの領域が適切に配置されており、学んだことや学ぶことが「導入単元」として設定されていることです。課題を発見し、

自分で考え、解決するという課題解決の道筋に沿って学習が進められるように構成されています。

次に、光村の「国語」です。

特長は、「交流」の場を設定し、言葉の豊かさについて考え、気付き、達成感を得られるよう工夫していることです。教材の冒頭に「目標」を明示しています。課題の解決に向けて協力し合ったり助言し合ったりする活動を通じて、コミュニケーション能力を育成できる場面を設定しています。

続きまして、書写につきましては、出版社は5社でございます。

初めは、東書の「新編 新しい書写」です。

特長は、「目標」と「調べよう」「確かめよう」「広げよう」の3段階からなる「学習の手引き」があり、目的意識を持って学習できるようになっていることです。教材を「練習」「資料」「生活に広げよう」に分け、系統的・発展的な学習ができるように構成されています。また、実物画像を用いた見本があります。

次に、学図の「中学校 書写」です。

特長は、学校生活で役立つ教材から、社会生活の中で役立つ教材まで幅広く取り上げられていることです。構成が「毛筆教材→解説→硬筆練習」に統一されており、分かりにくい筆遣いや字形については、写真や図解によって視覚的にも理解しやすくなっています。

次に、三省堂の「現代の書写」です。

特長は、「考える書写」の実現を目指し、教材の冒頭に生徒自ら考えることから学習に入る工夫がされていることです。学習の狙いがタイトルに示されており、生徒が学習の狙いを理解しやすくなっています。古典資料が図や写真等で分かりやすく紹介されています。

次に、教出の「中学書写」です。

特長は、学習過程を明確にすることで、学習者が自ら考え、主体的に学んでいく力を養うことができるよう教材内容が工夫されている点です。主体的に社会の形成に参画する力を養うよう構成されています。毛筆では、原寸大で筆脈が解説されており、生徒の運筆の助けになっています。

次に、光村の「中学書写」です。

特長は、「基礎編」「学習編」「資料編」で構成され、日常に生きて働く書写力が身に付くような工夫がある点です。「目標」及び「学習を振り返る」の自己評価が明示され、見通しを持って学習ができます。巻末の資料として、手紙の書き方など、生活の中で書写を生かせる工

夫がされています。

続きまして、社会の地理的分野につきましては、出版社は4社です。

初めは、東書の「新編 新しい社会 地理」です。

特長は、3分野で共通の写真やグラフ、地図を豊富に掲載し、各分野の視点で考察したり、学習内容の関連を図ったりするなど、多面的・多角的な学習を可能にしている点です。関連する資料の参照ページが分かりやすく提示されています。

次に、教出の「中学社会 地理 地域に学ぶ」です。

特長は、州の地勢図を掲載して地域を大観する学習や、科学性や芸術性に配慮し、地図資料を掲載したり、学習内容を深める用語や補足説明の必要な箇所には解説を設けたりしている点です。冒頭と本文中に「地理にアプローチ」を設けています。

次に、帝国の「社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土」です。

特長は、学習の最後に振り返りのページを設け、地図や図表を用いて、自分の言葉で説明することができるようにしている点です。各章の初めで、学習する地域の姿を写真から捉え、有名な観光地や興味・関心を引く地域の文化、特色ある自然や産業などに関する写真を掲載しています。

次に、日文の「中学社会 地理的分野」です。

特長は、「言語活動コーナー」や「学習の確認と活用」など、様々な地理的事象について考え、判断し、自分の言葉で表現することを促す学習活動を設定しており、日本の国土及び世界の諸地域の地域的特色の理解を一層深めることができるようにしている点です。

続きまして、歴史的分野につきましては、出版社は8社です。

初めは、東書の「新編 新しい社会 歴史」です。

特長は、歴史資料の見方や調べ学習を行う手法などが豊富に紹介されており、歴史学習に必要な基礎的な技能が身に付けられるよう配慮されている点です。見開き2ページで1単位の構成であり、「導入資料」、「学習課題」、「本文」、「確認」という構造になっています。

次に、教出の「中学社会 歴史 未来をひらく」です。

特長は、単元の最初に「学習課題」が示されており、生徒が課題意識を持って学習に取り組める工夫がされている点です。学習から興味や関心を広げていくコラム「歴史の窓」、歴史を掘り下げていく様々なテーマ学習のページも設けられています。

次に、清水の「中学 歴史 日本の歴史と世界」です。

特長は、史料の読み方や扱い方など、歴史を学習する上での方法などが紹介されており、

生徒の考察や課題発見を促すことができ、発展的な学習が期待できる点です。グループでの話し合いが提案されており、生徒間で学び合いや話し合いを行える工夫がされています。

次に、帝国の「社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き」です。

特長は、関連する地域の歴史を扱った「コラム」「特集」によって、思考力・判断力・表現力の育成、発展的な学習を図ることができるよう配慮されている点です。「時代全体のイメージ」、「基礎・基本となる事項」、「各時代をまとめる学習事項の整理・確認」という構成になっています。

次に、日文の「中学社会 歴史的分野」です。

特長は、日本史だけではなく、世界史の教材等も充実しており、広い視野を持って多面的・多角的に歴史を捉えるような内容となっている点です。歴史について生徒が考え、判断し、自分の言葉で表現することを促す学習活動によって、言語活動の充実を図ることができます。

次に、自由社の「新版 新しい歴史教科書」です。

特長は、歴史に厚みと奥行きを与える独自の読み物として、各時代において、日本人が外部の人々から評価されてきた資料や他国からの視点と評価をコラムとして取り上げ、生徒に幅広い知識と教養を身につけることができる点です。

次に、育鵬社の「[新編]新しい日本の歴史」です。

特長は、見開きごとの「学習のまとめ」、取り組むことで、生徒の思考力・判断力・表現力を育み、言語活動の充実につなげることができる点です。歴史上の人物や文化遺産などが多く取り上げられ、「我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる」ことが期待できます。

次に、学び舎の「ともに学ぶ人間の歴史」です。

特長は、歴史研究に基づいて多彩で興味深い歴史の事実を、本文の図版、資料等で多様に表現されていて、生徒の興味や関心を高める工夫がされている点です。章の初めに各地域の生活や世界のつながりを視覚的に捉えるページを設けて、生徒の意識を育成できます。

続きまして、公民的分野につきましては、出版社は7社です。

初めは、東書の「[新編] 新しい社会 公民」です。

特長は、單元ごとに、今日的な問題を題材としてディベートや話し合い活動の課題が設けられ、社会参画意識や態度を高められるようになっている点です。各章の導入で、小学校で学習した内容や地理・歴史の両分野で学習した内容を振り返る資料が配置されています。

次に、教出の「中学社会 公民 ともに生きる」です。

特長は、冒頭で「教科書の構成と学習の流れ」、「本文ページの見方や使い方」等について具体的な説明が示されており、生徒が見通しを持ちながら公民的分野の学習に入れるように配慮がされている点です。コラムを通じて、生徒の興味・関心を広げていくことができます。

次に、清水の「中学 公民 日本の社会と世界」です。

特長は、本文の至るところに注釈が設けられ、具体的な解説や補足説明が加えられていることです。理解を深めやすいように配慮されている点です。巻頭の「学習のはじめに」では、公民とは何かと問いかけることで、公民的分野の導入としての関心を引き出す工夫がされています。

次に、帝国の「社会科 中学生の公民 より良い社会をめざして」です。

特長は、社会の仕組みや制度の現状について、具体例を挙げながら、その意義や背景についても記述することで、中学生にとって分かりやすい文章表現となっている点です。「連続コラム」が随所に設けられ、社会に出た際に役立つ知識を身に付けられるよう工夫されています。

次に、日文の「中学社会 公民的分野」です。

特長は、「アクティビティ」では、学習内容と関連した具体的な作業課題や言語活動が示されており、思考力・判断力・表現力の段階的な育成を図ることができるとともに、学習内容を掘り下げて理解を深めさせることもできる点です。

次に、自由社の「新しい公民教科書」。

特長は、「学習の発展」で、既習知識を活用して取り組む課題が示されており、思考力・判断力・表現力の育成を図ることができる点です。「もっと知りたい」を通して、今日的課題が紹介されており、学習内容を補完しつつ、生徒の興味・関心を広げていくことができます。

次に、育鵬社の「[新編] 新しいみんなの公民」です。

特長は、新聞記事を豊富に掲載しており、現実社会との関連を図りながら、生徒の興味・関心を引き出す配慮がされている点です。各章の導入では、その章の学習内容の趣旨を捉えさせる言語活動が設けられ、主体的に社会に参画する姿勢を高める配慮がされています。

続きまして、地図につきましては、出版社は2社です。

初めは、東書の「新編 新しい社会 地図」です。

特長は、随所に資料を読み取る上で必要な知識や考え方を吹き出しで助けているため、内容をより深めることができる点です。地域のページでは、一般図、全体の資料、基本資料、テーマの資料で構成されているため、学習の場面で活用する資料が明確です。

次に、帝国の「中学校社会科地図」です。

特長は、地図上に歴史的な出来事、建造物などが明記され、街道の今昔の比較や江戸時代の東京、大阪の地図があり、歴史的分野での活用もできる点です。生活や文化について絵や写真を多く用いて説明されており、学習意欲を高める配慮がされています。

続きまして、数学につきましては、出版社は7社です。

初めは、東書の「新編新しい数学」です。

特長は、巻末などに日常生活や社会への活用に発展できるような題材が掲載されており、生徒の興味や関心を引き出すことができ、課題発見学習においても有効に活用できる点です。章末問題には、全国学力・学習状況調査の問題Bの種類を扱い、応用力をつけるように工夫しています。

次に、大日本の「新版 数学の世界」です。

特長は、学習活動様式が小学校の算数教科書の形式と共通点があり、児童から生徒への滑らかな接続に配慮した形になっている点です。基本的に見開き2ページを1時間構成にしているため、生徒及び指導者に対して、狙いや学習内容が明確化され、把握しやすくなっています。

次に、学図の「中学校数学」です。

特長は、比較的平易な数値を用い、様々な生徒が取り組みやすく、「分かる」「できる」という意識を根づかせた上で、反復学習をすることにより、基礎的・基本的な内容の定着を図ろうとする点です。随所に知識を深化する題材を用意し、興味・関心が広がる工夫があります。

次に、教出の「中学数学」です。

特長は、課題解決場面で、数学における言語活動の充実が図られるような工夫、多様な考え方を考えさせ、友達と交流する中で学習を深めていく工夫がある点です。学習したことをさらに深めたり広げたりする課題や、基礎・基本の定着を図る問題を数多く掲載しています。

次に、啓林館の「未来へ広がる数学」です。

特長は、話し合い活動を多く取り入れており、自分の言葉で説明する場面や小グループで協議する場面が多く設定されている点です。教科書の冒頭で数学を学習する意義やノートの作り方など、学習に対する取組方が示されていて、学習の基礎を築きやすくなっています。

次に、数研の「中学校数学」です。

特長は、各章で身近な話題を扱い、興味・関心が持てるような配慮がなされている点です。

章末問題等で数学的思考力や問題を解決する能力を高めるような工夫もあり、掲載されている図やイラストが、色彩豊かに表現されており、視覚的に理解しやすくなっています。

次に、日文の「中学数学」です。

特長は、身近な事柄と数学のかかわりや、歴史などに関する特設ページを多く設けることにより、理解の定着や技能の習熟を図ることができる点です。言語活動を促す場面を積極的に取り入れることにより、表現力が育てられるようになっています。

続きまして、理科につきましては、出版社は5社です。

初めは、東書の「新編 新しい科学」です。

特長は、基礎・基本の知識を習得させるために既習内容の復習、課題に対するまとめの整理、章ごとに要点チェック、単元末の学習内容の整理が用意されている点です。自身の考えの変容を確認できる設問が用意されており、学習成果を確かめることができます。

次に、大日本の「新版 理科の世界」です。

特長は、自然環境と人間との関わりが多く取り入れられ、身近に理科を感じられるような内容になっている点です。毎時の学習課題がページの初めに分かりやすい表現で記載されています。単元末問題でも復習や工夫があり、家庭学習にも活用しやすくなっています。

次に、学図の「中学校科学」です。

特長は、実験や観察では結果例が掲載され、家庭学習に資することができる点です。内容を説明する課題やモデルで表現される課題など多く設定され、個人発表などのために表現力向上に配慮されています。3年間の総まとめの学習を1冊の教科書で行うことができるようになっています。

次に、教出の「自然の探求 中学校理科」です。

特長は、内容に応じて学習の展開に「話し合い」「考えよう」が設定され、言語活動や科学的思考力の育成が図られている点です。レポートの書き方の例も示され、表現力を育む配慮がされています。問題では、基本問題と応用問題が別のページに用意されています。

次に、啓林館の「未来へ広がるサイエンス」です。

特長は、観察や実験には「目的」を新設し、方法を「ステップ」としてまとめ、目的意識や見通しを持ち、科学的思考力の育成を図り、生徒が思考する流れの編集になっている点です。「マイノート」で多くの基礎問題や応用問題が提供され自学自習を促す工夫がされています。

続きまして、音楽（一般）につきましては、2社です。

初めは、教出の「中学音楽 音楽のおくりもの」です。

特長は、日本の四季や自然の美しさを感じとれる写真などの具体的な資料が掲載されており、課題解決に役立つ工夫がある点です。教材の配列は3つの柱で、「基礎となる学習」「学習の広がり」「知識・技能の活用」で構成されており、系統的、段階的に理解できるように配慮されています。各教材に学習のポイントがあり、「めあて」や「評価の指針」となるようになっています。

次に、教芸の「中学生の音楽」です。

特長は、鑑賞教材では、西洋の古典音楽、我が国の伝統的な音楽や郷土の音楽、アジア地域の伝統的な音楽が取り上げられている点です。学習の観点や手順が示されていることから興味・関心を高め、主体性、創造性を育みやすくなっています。発声方法や指揮の基礎が図解されています。

続きまして、音楽（器楽合奏）につきましては、2社です。

初めは、教出の「中学器楽 音楽のおくりもの」です。

特長は、ソプラノリコーダーとアルトリコーダーのどちらでも学習ができるように配慮されていて、学習の実態に応じて取り扱うことができる点です。和楽器には、琴、箏、篠笛、太鼓、尺八を扱っており各校で適した授業の展開ができます。写真が多くあり、楽しみながら学習ができます。

次に、教芸の「中学生の器楽」です。

特長は、楽器の特性を生かした「創作」の学習も取り入れられ、個人の創造性を培うとともに、より幅広い学習に取り組めるようになってきている点です。教材の難易度や、文章の分かりやすさに配慮し、学習事項が優先的に目に入るような、シンプルなデザインになっています。

続きまして、美術につきましては、出版社は3社です。

初めは、開隆堂の「美術」です。

特長は、写真つきの細かな解説があるため、基礎・基本の習得に役立つ内容になっている点です。美術を学ぶ意義や学習したことが生活に生かされるようになっています。段階的な学習ができるよう工夫されています。

次に、光村の「美術」です。

特長は、興味・関心を引き出す「発想・構想のヒント」や「みんなの工夫」を掲載している点です。「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「学習を支える資料」で構成し、目標と問

いかけが示されています。「原寸大で鑑賞しよう」など見せ方を工夫した鑑賞の題材が配置されています。

次に、日文の「美術 出会いと広がり 学びの深まり 美の探求」です。

特長は、水墨画とジャポニズムのページには、和紙を使用し、原寸大の浮世絵が掲載されている点です。日本の伝統文化を尊重した美術文化が、国際社会に果たす役割について理解できるようになっています。題材に道徳心や公共心が育まれる視点を設けています。

続きまして、保健体育につきましては、出版社は4社です。

初めは、東書の「新編 新しい保健体育」です。

特長は、資料が新しいものが多く、見やすく明確であります。教科書の構成を学年別とし、各学年の学習内容が明確に分かりやすく、系統性を持ち、進めやすくなっている点です。章の最後には、知識として身についたかどうかを確認できる問題があります。

次に、大日本の「新版 中学校保健体育」です。

特長は、図を使って説明している箇所が多く、生徒は重要なキーワードを図とともに覚えやすいよう工夫している点です。様々なページがリンクしており、学習したことから、学習することをつなげて覚えやすくなっています。章末には章のキーワードがあり、学習しやすくなっています。

次に、大修館の「保健体育」です。

特長は、生徒の発達段階に応じて、知識を実生活に生かせるよう、課題や生活に関連した情報を提供している点です。各章の初めに中学生が抱く問題を掲げ、その章で学ぶことを捉えるようになっています。生涯を通じて運動に取り組む姿勢を育み、考える内容となっています。

次に、学研の「新・中学保健体育」です。

特長は、架空の場面を設定した事例を扱うことで、ディスカッション形式の授業が行いやすい点です。ストレスの対処について具体例が示され、生徒が日常生活でどう対処するかを考えています。ページ内には記号やマークが表示されていて、一目で分かる工夫がされています。

続きまして、技術・家庭（技術分野）につきましては、出版社は3社です。

初めは、東書の「新編新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology」です。

特長は、「目標」「はじめの活動」「まとめの活動」を設けて、繰り返し学習し、基礎的・基本的知識が習得できるようになっている点です。巻末に付録として切り取って組み立てる「防

「災害帳」を設け、防災・減災の技術を紹介しています。

次に、教図の「新技術・家庭 技術分野」です。

特長は、生活に密着した製品や新しい技術によってつくられた建物の写真やイラストが多く掲載されている点です。学習する上で大切な製作工程などは、分かりやすく丁寧に構成されています。「作業の安全」について、印をつけて分かりやすくなっています。

次に、開隆堂の「技術・家庭（技術分野）」です。

特長は、写真やイラスト、図表、コラムなど多く用いている点です。多くの実践例や体験的な学習活動を掲載し、学習の状況に応じた学習が選べるようになっており、幅広い教材の選択がしやすい構成となっています。

続きまして、技術・家庭（家庭分野）につきましては、出版社は3社です。

初めは、東書の「新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して」です。

特長は、調理実習例は、見開きで扱い、調理の流れを写真で示し、分かりやすくしている点です。教科書の見開きで1時間の授業展開となっていて、見通しを持って学習に臨むことができます。教科書は大判のサイズで見やすく、写真資料が充実しています。

次に、教図の「新技術・家庭 家庭分野」です。

特長は、小学校での学習を振り返りながら、中学校3年間の学習の見通しを持たせている点です。図版・イラスト・写真が適切に使用されています。親しみを持って学習できるようにキャラクターを登場させ、学習の広がりやきっかけとなるようにしています。

次に、開隆堂の「技術・家庭（家庭分野）」です。

特長は、家庭分野で設定されている4つの内容に、実習・製作などの実践的・体験的な学習活動を豊富に設定している点です。各内容の入り口には、「見開きの扉」を設け、学習のめあてと各学習項目が示されています。料理の写真を大きく掲載し、生徒の意欲を高める工夫がされています。

続きまして、英語につきましては、出版社は6社です。

初めは、東書の「NEW HORIZEN English Course」です。

特長は、文法・語彙・言語の使用場面と働き、題材について易しいものから難しいものへと系統的に繰り返し練習できるようになっている点です。学習のまとめとして「書く」課題があり、表現力、発信力を向上させる工夫がされています。

次に、開隆堂の「SUNSHINE ENGLISH COURSE」です。

特長は、各セクションに学習のめあてが提示されており、到達目標がはっきりしているた

め、目標を持った学習ができる点です。社会的な問題や課題、環境、人権などに関する話題をより探求できるように、世界各地の風物、文化など広く題材を提示しています。

次に、学図の「TOTAL ENGLISH」です。

特長は、1年生の第一課が、一般動詞から始まっており、生徒が興味や関心を持ちやすい点です。基礎的・基本的な知識・技能を習得するための言語活動と習得した知識・技能を活用して表現する言語活動がバランスよく配置されています。

次に、三省堂の「NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition」です。

特長は、新出単語の数が多く、辞書の引き方や活用の仕方、英語の学習法など、自学自習のヒントを提供し自律的な学習者の育成を指示する工夫がされている点です。巻末に、各学年でできるようになってほしい内容のリストが示され、セルフチェックができるようになっています。

次に、教出の「ONE WORLD English Course」及び同「Essentials」です。

特長は、3学年を通して、「4技能などのコミュニケーション能力の基礎」を確実に身に付けられるように、内容が選択・配置されている点です。関連のある文法事項ごとに「英語のしくみ」にまとめ、語彙や修飾関係における日本語との違いに留意して整理されています。

次に、光村の「COLUMBUS 21 ENGLISH COURSE」です。

特長は、教科書が一つのストーリーになっており、生徒が興味を持って学習を進めることができる点です。生徒にとって実際によくある場面から、世界に広がる題材まで幅広く取り上げており、自然な英語に触れながら、生きた英語が使えるようになっています。

以上で、中学校の教科書見本内容の説明を終わらせていただきます。

○池谷教育長 それでは、これより質疑に入りたいと思います。

委員の皆さん、いかがでしょうか。

潮委員、お願いいたします。

○潮委員 既に中学校の道徳が教科になっているかと思いますが、今回は道徳の採択は関係はないのでしょうか。

○池谷教育長 勝山指導担当参事、お願いします。

○勝山指導担当参事 お答えをいたします。

道徳の教科書に関しましては、昨年度にその採択の事務を行いました。こちらの教科書は、令和2年度までの2年間使用する教科書ということで、道徳の教科書を採択した次第でございます。つきましては、今年度、中学校における道徳の教科用図書の採択というものはござ

いません。

なお、令和2年度、来年度になりますが、令和3年度以降の4年間使用する中学校の教科用図書の採択がございます。この折には、全ての教科の採択をするわけですが、ここで道徳を含めて採択をするというところがございます。

以上でございます。

○池谷教育長 潮委員、よろしいでしょうか。

○潮委員 はい。

○池谷教育長 その他、委員の皆様、ございますでしょうか。

大野委員、お願いいたします。

○大野委員 1点、確認をさせていただきたいと思います。

ただいま最初のほうで説明のありました要請文の中に、直接そこには書かれていなかったんですが、たしか同じ団体の方の要請文には、学校の先生方の意見が採択で尊重されるべきだ、こういったことが書かれていたかと思います。今回、教科書を採択するに当たって、全ての教科に関して、教科書の課題ですとか、あるいは教科書会社を変えてほしいというような、教員の皆さんからの御意見というのは、教育委員会の方に上がってきておりますでしょうか。その点、お教えてください。

○池谷教育長 勝山指導担当参事、お願いします。

○勝山指導担当参事 お答えをいたします。

私ども教育委員会の事務局といたしまして、市の教育研究会、そういったものも含めまして、様々な機会を捉えて学校へ訪問をさせていただいております。年度の当初では、定例の教育委員会の訪問といったものがございまして、そのときにも全ての学校に私ども訪問をしているところでございます。そういった訪問の中でも、教員と直接話をする機会というものを意図的に設けまして、できる限り教員とは対話をできる体制を整えてきているところでございます。

特に指導主事が2名おりますけれども、様々な委員会や研修会を主催しているところでございますので、そういった場で教員の方々と多くお話をする機会というものがございます。実際に、私自身が指導主事の時代に、こういった委員会、主任会、そういうことも含めて、教員の皆様と教科書の使い勝手と申しますか、この教科書のこういうところが、こういうことになっているんだと、そういったお話も具体的に私のほうでも経験としてしてまいりました。

今、御質問の内容は、教員の意見として、その中学校の教科書を変えてほしいというような意見ですとか、この教科書の使い勝手がどうだという意見が、教育委員会の方に上がってきているかどうかという御質問だというふうにお受けいたしました。現在のところこの教科書についての意見というものは上がってきておりません。

以上でございます。

○池谷教育長 大野委員、よろしいでしょうか。

○大野委員 ありがとうございます。

○池谷教育長 比留間職務代理人、お願いします。

○比留間職務代理人 先ほど勝山指導担当参事より、要請文の説明に関わるところで、両団体の皆様のお考えによるものということで説明いただきました。今、大野委員から、教職員に関する御意見ということもあつたんですが、いろいろな意見というのがあると思います。そういう意見があるという、私も理解している中で、逆に教科書も、良さといいますか、先ほどの説明とは異なった御意見など持っている方々がいらっしゃるのかなというところもあるんですが、そういったことに関して、何か要請であったり、お話というのは過去いただいているものなのでしょうか。

○池谷教育長 勝山指導担当参事、お願いします。

○勝山指導担当参事 お答えをさせていただきます。

今回の中学校の教科書の採択に当たって、先ほど2件の要請が来ているという御説明をさせていただきます。今、委員がお話をされた内容というのは、様々な意見があるということで、逆にこういった教科書を採択したほうがいいのではないかと、そういう要請もきていないんですかという御質問だとお受けいたしました。

今回の採択に当たっては、そのような要請文はきてございません。これは4年前の中学校の教科書の採択の折にも、特定の教科書の採択をしないように求める要請というものはきてございますが、またその反対に特定の教科書を採択してほしいといった要請は、前回の4年前にもなかったということでございますので、今回も前回も同じような傾向であると捉えているところでございます。

なお、委員の方から両方の意見があるのではないかとということでお話をいただきましたので、参考までに申し上げるところでございますが、4年前の採択で開催をした教科書の展示会、こちらで総数が586件の多くの御意見をいただいているところでございます。先ほど申し上げましたとおり、採択について、特定の教科書の採択を求める方の意見と求めない方の

意見、どちらもあったわけですが、求める意見というものが 384 件、特定の教科書を採択しないでほしいと、求めない意見につきましては、この 4 年前は 157 件ということで、私どもといたしましては、要請としてはございましたけれども、どちらの御意見もあると事務局としては捉えているところでございます。

以上でございます。

○池谷教育長 その他、委員の皆さん、よろしいでしょうか。

杉原委員、お願いします。

○杉原委員 昨年度、小学校で今年度 1 年間だけ使用する教科書の採択がありました。教科書を変えると、それに伴って必要となる教材と教具も変えなければいけないし、教員が使用している指導書も全て入れ替えなければならないという状況になります。それについても話題になったと思います。

そういう要請がきているということで、そういうお考えをお持ちの方がいらっしゃるということは、十分理解できますけれども、学校から特に意見はないということと、それから来年度は教科書採択があるというような状況を考えますと、莫大な予算を投じて、今すぐ変更しなければならないということは、ちょっと考えにくいかなと思います。そういう観点から鑑みて、従来どおりの教科書を採択するというのが、妥当ではないかなと思います。

○池谷教育長 今、杉原委員、御意見がありましたけれども、質疑につきまして、その他ございますでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 これで質疑を終わらせていただきまして、これより協議に入りたいと思いますけれども、皆様、ございますでしょうか。

比留間職務代理者、お願いいたします。

○比留間職務代理者 先ほど勝山担当参事の御説明にもありましたとおり、要請が来ている教科書に対しましては、全体から見ればどちらの意見もあるということだったと思います。そうしますと、先ほど杉原委員もおっしゃってございましたけれども、1 年間の使用の中で莫大な予算を投じて、どうしても今すぐ変更しなければならない状況なのかというところを考えますと、私も先ほどの杉原委員の意見に同感であるかなと思います。現状を考えますと、従来どおりの教科書を採択するという方向で、今いかがかと思います。

○池谷教育長 その他の委員、皆さん、そういう方向で、いかがでしょうか。

○大野委員 同感でございます。

○池谷教育長 潮委員もよろしいでしょうか。

他にないということで、ただいま比留間職務代理者からもお話ありました。先ほど質疑の中で杉原委員からもお話があったとおり、平成 28 年度使用教科用図書として採択された、現在使用しております教科書をそのまま採択することが提案されておりますけれども、特にこれでよろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 皆様、同意見ということになりましたので、以上で協議を終了いたします。

ここで議案別紙を作成するため、暫時休憩いたします。15 分の休憩の後、15 時 15 分頃に再開いたします。

教育委員会の規則で、会議時間が 15 時までと決まっていますが、今協議が終わりまして、この後、議案別紙を作りますので、会議時間の延長をしたいと思うんですけれども、委員の皆さん、よろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○池谷教育長 15 時 15 分頃から会議を再開いたしまして、少し延長されますけれども、よろしく願いいたします。

では、暫時休憩いたします。

午後 3 時 0 1 分休憩

午後 3 時 2 0 分再開

○池谷教育長 では、休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第 3、議案第 45 号の議事を継続いたします。

議案別紙につきましては、教育総務課長より朗読いたさせます。

なお、お手元に配付いたしました議案別紙は、平成 28 年度使用教科用図書として採択された、現在採用されている使用教科用図書の一覧と同じものでございます。

では、よろしく願いいたします。

井上教育総務課長、お願いします。

○井上教育総務課長 それでは、議案別紙を朗読いたします。

別紙、選定図書、武蔵村山市立中学校令和 2 年度使用教科用図書。

種目、発行者、書名の順で朗読いたします。

国語、光村図書、「国語」。

書写、教育出版、「中学書写」。

社会（地理的分野）、教育出版、「中学社会 地理 地域に学ぶ」。

社会（歴史的分野）、育鵬社、「[新編] 新しい日本の歴史」。

社会（公民的分野）、育鵬社、「[新編] 新しいみんなの公民」。

地図、帝国書院、「中学校社会科地図」。

数学、東京書籍、「新編 新しい数学」。

理科、大日本図書、「新版 理科の世界」。

音楽（一般）、教育出版、「中学音楽 音楽のおくりもの」。

音楽（器楽合奏）、教育出版、「中学器楽 音楽のおくりもの」。

美術、光村図書、「美術」。

保健体育、東京書籍、「新編 新しい保健体育」。

技術・家庭（技術分野）、東京書籍、「新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology」。

技術・家庭（家庭分野）、教育図書、「新技術・家庭 家庭分野」。

英語、教育出版、「ONE WORLD English Course」 「ONE WORLD English Course Essentials」。

以上でございます。

○池谷教育長 それでは、これより質疑に入ります。

委員の皆様、いかがでしょうか。

（発言する者なし）

○池谷教育長 では、質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。

（発言する者なし）

○池谷教育長 討論なしと認めます。

これをもって討論を終わります。

これより、議案第 45 号 武蔵村山市立中学校令和 2 年度使用教科用図書の採択についてを採決いたします。

武蔵村山市立中学校令和 2 年度使用教科用図書については、別紙のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○池谷教育長 挙手全員であります。

よって、武蔵村山市立中学校令和 2 年度使用教科用図書については、別紙のとおり決しました。

◎日程第 4 議案第 46 号 武蔵村山市立小学校特別支援学級令和 2 年度使用教科用図書の採択について

○池谷教育長 日程第 4、議案第 46 号 武蔵村山市立小学校特別支援学級令和 2 年度使用教科用図書の採択についてを議題といたします。

教育総務課長より議案の朗読をいたさせます。

井上教育総務課長、お願いします。

○井上教育総務課長 それでは、議案を朗読いたします。

議案第 46 号 武蔵村山市立小学校特別支援学級令和 2 年度使用教科用図書の採択について。

武蔵村山市立小学校特別支援学級令和 2 年度使用教科用図書を別紙のとおり採択するため、教育委員会の議決を求めます。

令和元年 8 月 9 日、武蔵村山市教育委員会教育長。

別紙についての朗読は省略させていただきます。

以上でございます。

○池谷教育長 ありがとうございます。

それでは、議案第 46 号の提案理由を説明させていただきます。

義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第 13 条の規定により、小学校特別支援学級令和 2 年度使用教科用図書を採択する必要があるため、本案を提出するものでございます。

なお、内容につきましては、勝山指導担当参事から説明をいたさせますので、よろしく御審議の上、御決定くださるようお願いいたします。

勝山指導担当参事、お願いします。

○勝山指導担当参事 それでは、議案第 46 号 武蔵村山市立小学校特別支援学級令和 2 年度使用教科用図書の採択について、御説明いたします。

学校教育法第 34 条第 1 項に、「小学校においては、文部科学大臣の検定を経た教科用図書又は文部科学省が著作の名義を有する教科用図書を使用しなければならない。」と定められています。

このことに関して、特別支援学級で使用する教科用図書については、同法の附則第9条において、第34条第1項に規定する教科用図書以外の教科用図書を使用することができることと定められております。これを踏まえ、教科書採択資料作成委員会報告書、特別支援学級用に示されております図書が、採択の対象となる教科用図書となります。

別紙、武蔵村山市立小学校特別支援学級令和2年度使用教科用図書は、この報告書を一覧にしたものでございます。

それでは、別紙について御説明いたします。

上段から、生活は12社から17冊、国語は5社から8冊、書写は3社から7冊、算数は7社から11冊でございます。

特別支援学級におきましては、児童一人一人の障害の実態等に対応する必要があることから、教科ごとに通常の学級で使用される文部科学省検定済み教科書を同様に使用する児童や、文部科学省著作教科書を使用する児童、本報告書に示されている図書を教科書として使用する児童など、個々に使用することになる教科書が異なることを踏まえ、同委員会が十分に精査、検討した上で本報告書が作成されております。

委員の皆様には、御意見等がございましたら御協議いただき、御採択くださいますよう、お願いいたします。

また、中学校の特別支援学級教科用図書につきましては、令和2年度は該当する生徒の実態から全生徒が全ての教科において、通常の学級で使用される文部科学省検定済み教科書を使用し、適宜、補助教材を活用して指導することが望ましいと同採択委員会が協議、判断をしたため、教科書採択資料作成委員会報告書をもって報告する該当図書はないとのこととございます。

なお、文部科学省検定済み教科書につきましては、先ほどの議案第45号で議決をいただきました教科書でございますので、詳細につきましては、別紙を御確認いただきますようお願いいたします。

特別支援学級在籍の児童・生徒につきましては、一人一人の実態に応じて採択を経た文部科学省検定済み教科書、もしくは文部科学省著作教科書、または本日これから御採択いただく、いわゆる一般図書のいずれかを教科書として、教科ごとに1冊ずつ無償で配布し、学習に供することとなりますので、御理解を賜りますようお願いいたします。

以上でございます。

○池谷教育長 これより質疑に入ります。

なお、質疑につきましては一括して行うことといたしますが、いかがでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 質疑につきまして、特にございませんでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。

なお、討論につきましても一括して行うことといたします。

よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 討論なしと認めます。

これをもって討論を終わります。

これより議案第 46 号 武蔵村山市立小学校特別支援学級令和 2 年度使用教科用図書の採
択についてを採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○池谷教育長 挙手全員であります。

よって、本案は原案のとおり決しました。

◎日程第 5 その他

○池谷教育長 日程第 5、その他に入ります。

委員の皆様から報告等の御発言があればお受けいたします。

(発言する者なし)

○池谷教育長 事務局からの報告等の御発言があればお受けいたします。

井上教育総務課長、お願いします。

○井上教育総務課長 事務局からはございません。

以上でございます。

○池谷教育長 これをもって、その他を終わります。

◎閉会の辞

○池谷教育長 以上で、本臨時会に付議されました案件の審議は全部終了いたしました。

これもちまして、令和元年第1回教育委員会臨時会を閉会いたします。

長時間ありがとうございました。

午後 3時31分閉会